

Institute in Japan, Kansai http://euij-kansai.jp







Consortium of $\it 3$ Universities



「EUインスティテュート関西」とは -What is the EUIJ-Kansai?

■ EUIJ関西とは

EUIJ関西は、2005年4月1日、EUの資金援助を得て、神戸大学(幹事校)、関西学院大学、大阪大学からなるコンソーシアムとして設立され、EU(欧州連合)に関する学術研究拠点として、EUの研究・教育の促進、広く一般市民へのEUに関する広報活動の推進、および21世紀におけるEUと日本の広範囲な関係の強化を活動の目的としています。

EUIJ関西は、次の3分野において広範な活動を 展開します。

1. EUに関する教育・学術研究拠点となること

EU関連授業を大幅に拡充し、3大学間でのEU科目の単位互換を実施します。EU科目の所定単位を履修した学生にEUIJ関西から修了証書を与えます。その他、欧州学術機関との交流推進、学生に対する奨学金制度の創設、客員教授などの招聘、共同研究の推進、EU関連セミナー、学術講演、国際学術会議などの開催を行います。

2. EU情報発信拠点となること

駐日欧州連合代表部との連携により、EU情報を収集し、 EUIJ関西WEBサイトを活用した有益な情報発信に努めます。

3. アウトリーチ活動

EUIJ関西は、一般市民への公開講座やビジネス界への ビジネスセミナーやシンポジウムなどを開催し、アウトリー チ活動を積極的に行います。

General Objectives of the Project

The *EUIJ-Kansai*, a consortium formed by Kobe University (co-ordinating university), Kwansei Gakuin University and Osaka University, was established on 1 April 2005 with financial support from the European Union. The *EUIJ-Kansai* aims to foster a better understanding of the EU issues among the Japanese public at all levels as well as to promote academic interactions, thus contributing to the strengthening of the EU-Japan multi-dimensional partnership in the 21st century.

Goals and activities

1. To become an EU-related education and academic centre

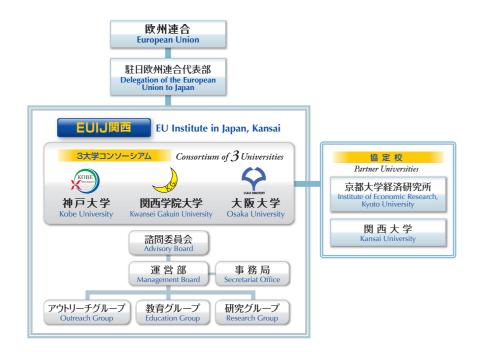
Offering new EU-related courses and an extensive credit-transfer scheme among the consortium members, the *EUIJ-Kansai* awards Certificates on the EU studies to those students of the consortium who have successfully completed the stipulated EU courses. The *EUIJ-Kansai* also promotes academic exchanges with European universities and institutions through joint researches, seminars, international conferences, invitation and scholarship programmes.

2. To become a major source of EU-related information

Working in close collaboration with the Delegation of the European Union to Japan, the *EUIJ-Kansai* gathers and disseminates a wide range of the EU-related information through the *EUIJ-Kansai* website.

3. To promote EU-related outreach activities

The *EUIJ-Kansai* organises open public seminars and professional seminars for business communities and various professional organisations on the EU issues.



目次

1. ご 挨 拶	1. Greeting
トピックス	of the European Union to Japan Topics
2. 教育・研究活動 8 ・修了証プログラム ・コロアキアム ・合宿 ・奨学金・インターシップ助成プログラム ・専門家招聘による集中講義 ・アジアのEUセンターとの大学院生による共同研究 ・韓国EUセンターとの学部生による共同研究 ・ EUディベートクラブ ・ 図書資料事業 ・アカデミック・セミナーシリーズ ・ EU研究者による研究グループ活動 ・研究目的のワークショップ ・ 欧州経済社会評議会との学術会議	 2. Academic & Research Activities
 アウトリーチ活動38 ・一般の人々への活動 ・高校生への活動 ・ビジネス界への活動 ・アウトリーチ・セミナーシリーズ ・その他のアウトリーチ活動 ・情報活動 	3. Outreach Activities · · · · · · · 39 ► To General Public ► To Students of Senior High School ► To Business Circle ► Outreach Seminar Series ► Other Outreach Activities ► EU-Related Information Activities
4. 学術交流活動	 4. Academic Exchanges with Research Institutes outside the region ···· 47 ▶ Invited Young Fellows Programme ▶ Seminars by Invited Experts Programme
5.他のEUセンターとの活動 46・アジアのEUセンター・日本のEUセンター・兵庫EU協会・日欧産業協力センター	 5. Cooperation Activities with other EU Centres from the region ···· 47 ▶ Asian EU Centres ▶ 4 EUIJs ▶ Hyogo EU Association ▶ EU-Japan Centre of Industrial Cooperation

6. 組織概要 …… 48

Table of Contents

6. Organisation and Offices ----- 49





EUインスティテュート関西 諮問委員会議長 福田 秀樹

EUインスティテュート関西(EUIJ関西) は、欧州委 員会の資金協力を得て、2005年4月、神戸大学(幹事校)・ 関西学院大学・大阪大学のコンソーシアムによるEU教 育研究機関として設立され、7年にわたり活動を継続し てきました。

ここに第2期第3年度の年次報告書作成に当たりまし て、EUIJ関西・諮問委員会議長として一言ご挨拶申し 上げます。

2005年の設立からの7年間で、様々な教育研究活

動により、EU加盟国から数多くの研究者、専門家が EUIJ関西を訪れ、研究者、大学生、小中高生、ビジ ネス界や一般の方々との意見交換を行ってきました。 第2期では、2010年4月にヘルマン・ヴァンロンプイ欧州 理事会議長から500名を超える3大学の研究者・学生に 「変化する世界における変化するEUと変化する日本」と 題してご講演を戴きました。同年9月にG.フェアホイゲン 前欧州委員会副委員長、同年10月にはJ.フィッシャー・ ドイツ前副首相兼外相など著名な政治家を、そして駐 日欧州連合代表部および多くの加盟国の大使をお迎え

EUII関西の目的の1つは、関西におけるEUに関する 教育拠点となることです。今年度も3大学百数十名の学

できましたことは特筆すべきことです。

部学生・大学院生が修了証書プログラムに登録し、そ の成果を着実にあげました。さらに、アジア諸国のEU センターでEUに関する研究を行っている学部学生や大 学院生との研究教育交流を行うなど、その輪は関西を 超えアジアに広がりました。

また、研究分野についても、法学、政治学、経済学、 経営学など社会科学を中心としながら、人文・人間科 学系、自然科学系、生命・医学系を含め、EUの大学 や研究機関との総合的な関係強化を図っており、今後 その成果が公開されていくことが期待されています。

アウトリーチ活動に関しては、従来から、兵庫県が設 立した「兵庫EU協会」や「日欧産業協力センター」と 協定を締結し、関西におけるEUのプレゼンスを高める 努力をしています。

第2期では、これらに加えて、とくに高校生向けに数 多くのミニシンポジウムを開催したり、ビジネス界や一 般の方々にシンポジウムや講演会を開催するなど、活動 の幅を広げました。

EUII関西は、こうした活動を通じ、日本とEUとの 関係強化、さらには国際社会の発展に微力ながら貢献 していきたいと考えております。

今後とも、皆様からご指導とご鞭撻を賜り、引き続 きEUII関西の活動を支えて戴きますよう、何卒よろしく お願い申し上げます。

Chairperson of Advisory Board of the EU Institute in Japan, Kansai Prof. Hideki FUKUDA President of Kobe University

The EU Institute in Japan, Kansai (EUIJ-Kansai) was founded in April 2005 with financial support from the European Commission. Formed as a consortium of three universities, Kobe University (the coordinating university), Kwansei Gakuin University and Osaka University, the EUIJ-Kansai is an institute that conducts research and provides education on EU issues. We have now been conducting our operations for seven years.

I, as chairperson of the EUIJ-Kansai Advisory Board, would now like to say a few words on this occasion of the publication of our annual review for the third year of our second term..

In the seven years since the founding of EUIJ-Kansai in 2005, we have conducted a variety of research and education activities. Numerous researchers and experts from EU member countries have visited our institute to interact and share opinions with our own researchers, as well as with university students, pupils from elementary, middle and high schools, the business world and members of the general public.

In the second term, we have received many visitors from EU Member States. In April 2010, we were honoured by a visit from the President of the European Council, Mr. Herman Van Rompuy, who gave a talk to an audience of more than 500 researchers and students from the three universities, titled 'A Changing EU and a Changing Japan in a Changing World'. In September 2010, we were visited by former Vice President of the European Commission, Mr. Günter Verheugen. In October 2010, we were visited by former Vice Chancellor and Foreign Minister of Germany, Mr. Joschka Fischer, along with several other highly distinguished politicians. I am also proud to note that we had visits by ambassadors of the Delegation of the European Union and many EU member countries.

One of the objectives of the EUIJ-Kansai is to become a central hub for education on EU-related issues in the Kansai Region. This academic year as well, more than 100 undergraduate and graduate students from the three universities registered for our Certificate Programme, and they have been showing sure and steady improvement in their achievements. Furthermore, our activities have been continuing to grow in scope, extending beyond Kansai to incorporate other parts of Asia, and now include exchanges with undergraduate and graduate students studying EU issues and conducting research at other EU centres in various Asian countries.

The institute is also working to bolster overall ties with universities and research institutions in the EU. These efforts centre mainly on the fields in the social sciences such as law, politics, economics and business management, but also include fields in the humanities, human science, natural science and biomedical sciences. We look forward to publishing the outcomes of these initiatives.

Regarding our outreach activities, we have concluded agreements with the Hyogo EU Association, set up by the Hyogo prefectural government, and the EU-Japan Centre for Industrial Cooperation, and together we are making every effort to raise awareness of the EU among the general public in Kansai region.

In the second term, we added to these initiatives and further widened the sphere of our activities, holding many 'Mini-Symposia by experts from the EU' for senior high school students, Mini Symposium of "Space Dream in Europe" for elementary and middle school students, and International Symposia and seminars directed to the business world, and Mini Symposium for the general public.

Let me conclude by noting that we at the EUIJ-Kansai consider our activities as a way of strengthening the ties that bind Japan and the EU and, furthermore, of making a contribution to the betterment of international society. Now, more than ever, we humbly ask for your ongoing support and encouragement to ensure that the activities of the EUIJ-Kansai realise their full potential.



EUインスティテュート関西 代表 吉井 昌彦 神戸大学大学院 経済学研究科教授

EUインスティテュート関西第2期第3年度のアニュアル・レポートを発刊するに当たり、本インスティテュート代表として一言挨拶させていただきます。

欧州委員会から資金援助を仰ぎ、神戸大学、関西学院大学、大阪大学から構成されるEUインスティテュート関西が設立されたのは、2005年4月のことでした。2008年9月に第1期の活動を終え、2009年4月に欧州委員会からの新たな資金援助を得て第2期がスタートしました。その間、2008年には京都大学経済研究所及び関西大学と協力協定を結ぶなど、一段と活動の範囲を拡大しています。まさに、オール関西としての基盤を固め、関西の地からEUに関する教育研究拠点として、情報を発信しつつあります。

第2期では、従来からの活動を継続・強化するだけでなく、とくにアウトリーチ分野において新規の活動を展開することにより本インスティテュートの発展に努めております。とくに、本インスティテュート教員、駐日欧州連合代表部館員、EUからの研究者が高校に出向き、EUについてのミニシンポジウムを数多く開催しました。また、小中学生向けに、2010年12月に、欧州宇宙機関(ESA)より研究者をお招きし、「ヨーロッパから宇宙ロマンをみなさんへ」と題したミニシンポジウムを開催し、未来の宇宙開発についてやさしく語りかけていただきました。ビジネス界向けには、日本電気制御機器工業会の協力を得てビジネスセミナーを開催するなど、様々なアウトリーチ活動を行ってきました。本インスティテュートはこれからも積極的に学外に出て、EUに関する情報を発信していくつもりです。

第2期の活動は計4年間の活動が予定されています。

残された期間もわずかとなりましたが、EUインスティテュート関西は、わが国とEUを結ぶ教育学術交流拠点として活動し、日・EU関係強化に微力ながら貢献したいと念じております。

2011年4月より久保広正前代表からEUインスティテュート関西代表を引き継ぎ、既に1年が過ぎました。 我が国だけでなく、世界中のEUセンターを見渡しても、 その活動水準がきわめて高いものであるだけに、本インスティテュートをさらに発展させていくためにはさらに 大きな努力が必要であることを肝に銘じ、微力ながら 代表の役を務めてまいりました。

2005年から2008年までの第1期は、言ってみればEU の深化と拡大の絶頂期を受けたものでした。深化については、ユーロへの信任がしだいに増し、フランスの「ノン」、オランダの「ニー」で頓挫した憲法条約も、2007年12月にリスボン条約として調印されました。拡大については、中東欧・地中海諸国の加盟により、加盟国は15から27に増えました。EUを楽観的に語ることのできた良き時期でした。

2009年からの第2期は、逆境の時期に当ります。ギリシャなど南欧諸国の経済危機は、終わりが見えていません。ギリシャのユーロ圏脱出がいつ起きてもおかしくない状況が長く続いています。EUを悲観的にとらえる見方が増していることは事実です。

しかし、EUは日本にとって最も重要なパートナーの一つであり、EUの経験が日本を含めたアジアの将来にとってきわめて有用であるという事実には何の変わりもありません。私たちは、このような考えの下に、EUインスティテュート関西の活動をさらに発展させていきたいと考えています。

こうした活動は、関連教員・事務スタッフだけでなく、 駐日欧州連合代表部、各大学、さらには地域社会の支援がなければ継続することはできません。ここに改めて支援を頂戴している皆様に厚くお礼を申し上げるとともに、今後も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。 President of the EU Institute in Japan, Kansai

Prof. Masahiko YOSHII

Graduate School of Economics, Kobe University

As President of the EU Institute in Japan, Kansai (*EUIJ-Kansai*), I would like to say a few words on the occasion of the publication of the *EUIJ-Kansai* Annual Review of the third year of our second term.

The EUIJ-Kansai was founded in April 2005, by Kobe University, Kwansei Gakuin University and Osaka University, with financial support by the European Commission. In September 2008 the first term of operations successfully came to end, and in April 2009, with renewed financial support from the European Commission, we commenced our second term. During the seven years since its founding, the EUIJ-Kansai has made great strides in expanding the scope of its activities. In 2008, for example, cooperation agreements were concluded with Kyoto University's Institute of Economic Research, and with Kansai University. I am proud to say that the EUIJ-Kansai is now well on the way to becoming a truly important and representative education and research hub for the entire region of Kansai, disseminating EU-related information throughout the area.

In the second term we are continuing and advancing our ongoing operations, but we have also been putting efforts into developing new kinds of initiatives, especially in the field of 'outreach', that will also serve to develop the EUIJ-Kansai. As outreach activities to high school students, we arranged for members of the EUIJ-Kansai, staff of the Delegation of the European Union to Japan, and researchers from various EU Member States, on EU-related issues in many high schools. As outreach activity to elementary school students, in December 2010 we invited scientists from the European Space Agency (ESA) to organise Mini Symposium of "Space Dream in Europe", where the scientists spoke in simple and easy-to-understand way about what kind of space development they can expect to see in the future. As outreach activities to the business world, we have organized various activities, including several special business seminars in cooperation with the Nippon Electric Control Equipment Industries Association. We intend to conduct more of these kinds of outreach activities in the future, targeting segments of the community that lie beyond the walls of academia, to disseminate EUrelated information.

The activities of our second term are scheduled to proceed for four years. Although the remaining time is very limited, the *EUIJ-Kansai* is determined to continue our work as a focal point for education and research

linking Japan and the EU, and to do whatever we can to make a contribution to the advancement of relations between Japan and the EU.

One year has passed since I became the new president of the *EUIJ-Kansai* in April 2011, having been handed the post by former *EUIJ-Kansai* President, Professor Hiromasa Kubo. Conscious of the extremely high standards already set by this Institute, not only with regard to EU Centres in Japan but also other EU Centres all over the world, I have intended to fulfil my role as president to the best of my ability, bearing firmly in mind the necessity to keep working, even harder, so that the potential of our institute can be realised.

In the first term of the Institute, from 2005 to 2008. we were lucky enough to be in the zenith of the EU, in a period of what we might call intensification and enlargement. By intensification, I refer to the deepening faith in the euro, and to the fact that the Treaty Establishing a Constitution for Europe, previously rendered obsolete by the refusal of France and the Netherlands to ratify it, was finally ratified by all the necessary parties in December 2007, when it became known as the Lisbon Treaty. As to the enlargement, the number of member countries in the EU expanded from 15 to 27, through the inclusion of various countries in central and eastern Europe, and some Mediterranean countries. This was a golden age, in which it was possible to talk of the EU with confidence and hope in the future.

By contrast, our second term, starting in 2009, corresponded with a reversal in the EU's fortunes. The economic crisis in Greece and other south European countries that started in 2009 still shows no sign of coming to an end. Rumours have been repeated that Greece might be expelled out of the Euro zone. It is a fact that more and more people now look at the EU with a jaundiced eye.

Even so, none of the above does anything to alter the fact that for Japan the EU remains one of most important partners, and indeed the experience of the EU Member States is extremely useful for the future, for Japan and indeed all the countries of Asia. It is on the basis of this belief that we at the *EUIJ-Kansai* intend to make every effort to further extend and develop our initiatives.

Our activities of course rely on the efforts of our faculty members and our administrative staff, but they also rely very much on the support of the Delegation of the European Union to Japan, and various universities and communities in the region. We would like to express our warm appreciation for the support you have given us in the past, and humbly ask for your continuing an ever greater support in the future.

4 │ 挨 拶



ることです。

ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート 駐日欧州連合代表部大使からのメッセージ

気候変動やエネルギー安全保障、貧困の削減、テロ との戦いなど、21世紀における地球規模の問題につ いても近い立場をとっています。

しかし、こうした重要な基本的事実も、変化の早 い今日の情報社会の中では見過ごされ、見逃される ことがあります。そのため、日・EU関係の促進にお いては、EUに焦点を当て、より多くの日本の方々が EUの機能を理解できる教育プログラムが不可欠に なっているのです。

リスボン条約の発効により、EUは、国際舞台でそ の規模と経済力に見合った一層大きな役割を担うす ために必要な手段を手に入れました。従って、我々が、 国際社会におけるEU の戦略的パートナーである日 本との、一層緊密な協力を期待するのは当然のことと 言えます。

駐日EU代表部は、日・EU関係の強化と相互理解 の促進にかける私どもの強い思いを、EUII 関西のみ なさまが共有してくださっていることに感謝の意を表 するともに、今後益々のご発展を祈念しております。

リスボン条約で創設された欧州対外行動庁 (EEAS) 下の初の駐日欧州連合(EU) 大使である私の、最初 のかつ最も重要な任務は、日本とEUの関係をより高 度な次元に高めること、そして政治経済の分野のみ ならず、学術協力や市民交流面での連携の強化を図

こうした観点から、私は、EUインスティテュート関 西(EUIJ関西)が長年、その精力的な活動を通じて、 EUとその政策や目標について、より多くの日本の方々 に知っていただく努力を続けておられることをうれし く思います。

日本とEUは、民主主義、法の支配、市場経済、 人権の尊重など多くの価値を共有しています。また、

トピックス

第3年度にEU加盟国の多くの大使がEUIJ関西を訪問されました。

2011年6月30日 駐日欧州連合代表部 ハンス・ディート マール・シュヴァイスグート大使閣下が、兵庫EU協会で の「日・EU関係の近況」のセミナーの前に神戸大学を 訪問され、福田秀樹学長(EUIJ関西諮問委員会議長) と面談されました。

2011年6月30日 駐日英国大使館 デイビッド・ウォーレ ン大使閣下が関西学院大学で開催された「英国と日本: 関西諮問委員会委員) を訪問されました。

2011年10月20日 駐日ラトビア共和国ペテリス・ヴァイヴァ ルス大使閣下が関西学院大学で開催された「バルトの真 珠-ラトビア」のセミナーの前に井上琢智学長(EUIJ 関西諮問委員会委員)を訪問されました。

2011年10月28日 駐日ドイツ連邦共和国フォルカー・シュ タンツェル大使閣下が関西学院大学で開催された「ドイ ツから見た3.11後の東アジア情勢 のセミナーの前に 類似性と差異 | のセミナーの前に井上琢智学長(EUII 井上琢智学長(EUII関西諮問委員会委員)を訪問され ました。

Message from the Ambassador of the Delagation of the European Union to Japan H.E. Mr. Hans Dietmar Schweisgut

As the European Union's first Ambassador to Japan under the European External Action Service created with the Lisbon Treaty, it is my first and foremost duty to bring bilateral relations between the EU and Japan to a higher level, and to ensure that they encompass not only the political and economic spheres, but also build on cooperation at the academic and people-topeople level.

In this sense, I am delighted that the EU Institute in Japan Kansai (EUIJ-Kansai) has for so many years endeavoured to organise programmes and events that help raise awareness about the EU, its policies and its aspirations among the wider Japanese public.

The EU and Japan share many common values: democracy, the rule of law, market economics, and respect for human rights, just to name a few. We

also have similar positions on the global challenges of the 21st century, such as climate change, energy security, the alleviation of poverty and the fight against terrorism.

But these basic yet important facts can be overlooked or left on the wayside in the fast-paced information society of today, which makes educational programmes that focus on the EU and enable more Japanese citizens to understand how the EU works essential in galvanising bilateral ties.

With the Lisbon Treaty, the EU has become equipped with the tools it needs to take on the enhanced role on the world stage that is commensurate with its size and economic power. It is only natural, then, for us to seek even closer cooperation with Japan, one of its strategic partners in the world.

To this end, the Delegation of the European Union to Japan would like to commend the EUIJ-Kansai for sharing our dedication to strengthening EU-Japan relations and deepening mutual understanding, and I wish it continued success.

Topics

Many ambassadors from the EU Member States visited the *EUIJ-Kansai* during the third year.

On 30 June 2011 H.E. Mr. Hans Dietmar Schweisgut, Ambassador of the Delegation of the European Union to Japan visited President Dr. Hideki Fukuda of Kobe University, when seminar of "Update on EU-Japan Relations" was held at Hyogo EU Association.

On 30 June 2011 H.E. Mr. David Warren, Her Majesty's Ambassador to Japan visited President Dr. Takutoshi Inoue of Kwansei Gakuin University, when seminar of "Britain and Japan - Similarities and Differences" was held there.

On 20 October 2011 H.E. Mr. Peteris Vaivars, the Ambassador of the Republic of Latvia visited President Dr. Takutoshi Inoue of Kwansei Gakuin University, when seminar of "Latvija - Baltijas Perle" was held there.

On 28 October 2011 H.E. Dr. Volker Stanzel, the Ambassador of Deutsche Botschaft Tokvo visited President Dr. Takutoshi Inoue of Kwansei Gakuin University, when seminar of "Situation in East Asia after the Tohoku from German Point of View" was held there.

挨拶 Greeting

Academic & Research Activities

修了証プログラム

◆ EU研究修了証とは?

EUIJ関西を構成する三大学に所属する学部学生及び大学院生は、所定の科目を履修することにより、EUIJ関西が発行するEU研究修了証を取得することができます。この修了証は、大学が授与する学士号・修士号とは別に、EU研究につき所定の成果を上げた学部学生・大学院生に対し、EUIJ関西が独自に授与するものです。

学部学生の履修について

1. 修了証プログラムへの登録

修了証の取得を目指す学部学生は、所属大学EUIJ関西事務局において、修了証プログラムに2学期間以上の登録を必要とします。

2.「EU科目」の修得

EUIJ関西参加三大学は、充実したEU研究カリキュラムを提供します。これらの科目は、導入科目を始め7つの科目群に分かれています。歴史・法律・政治・経済・自然科学・文化などの多種多様な観点からEUについて学ぶことにより、EUの姿をより深く理解することができます。

修了証プログラム登録学生は、参加三大学において開講される「EU科目」を単位互換協定に基づき履修することができます。

3. EUに関する研究論文

EU研究の総仕上げとして、EUに関する問題を論じる研究論文を作成します。字数は日本語20,000字以内、英・仏・独いずれかで10,000字以内。

優秀論文を執筆した学生には、「EU研究コロキアム」に参加する機会が与えられます。

大学院生の履修について

1. 修了証プログラムへの登録

修了証の取得を目指す大学院生は、所属大学EUIJ関西事務局において、修了証プログラムに2学期間以上の登録を必要とします。

2. 「EU科目」の修得

EUIJ関西参加三大学は、充実したEU研究カリキュラムを提供します。これらの科目は、(a)から(d)までの3つの科目群に分かれています。修了証プログラム登録学生は、参加三大学にて開講される「EU科目」を履修することができます。

3. EUに関する研究論文

EU研究の総仕上げとして、EUに関する問題を論じる研究論文を作成します。字数は日本語20,000字以内、英・仏・独いずれかで10,000字以内。優秀論文を執筆した学生には、「EU研究コロキアム」に参加する機会が与えられます

EU関連カリキュラム活動

EU研究修了証プログラムはEUIJ関西が活動を開始した2005年4月1日から開始しました。開始当初は21人の参加学生数でしたが、その後徐々に増加して2011年10月1日には135名(学部生74名、院生61名)となっています。

2012年3月21日には6回目の修了証授与式を実施し、計8 名(学部生3名、院生5名)に修了証を授与しました。

コロキアム

EUIJ関西では、修了証取得に必要な研究論文を提出した学生の中で、優秀論文を執筆した学部生を対象に、毎年3月にコロキアムを実施しています。

コロキアムでは、駐日欧州連合代表部参事官、外交官、E U加盟国の専門家、EUIJ関西教授陣で構成される審査員 の前で研究論文を英語・フランス語・ドイツ語のいずれかで 発表し、討論をして論文の内容や質疑応答の的確さを競い、 EUIJ関西が表彰します。

第3年度の結果

最優秀賞

大場佐和子 神戸大学大学院法学研究科

「EU加盟条件がチェコの司法制度に与えた影響」

優秀賞

モニカ・オストロフスカ 大阪大学大学院国際公共政策研究科 "The European Union's Role in Global Climate Change



Certificate Programme in European Union Studies

What is the Certificate in European Union Studies?

Undergraduate or graduate students at one of the three member universities of the *EUIJ-Kansai* may receive an Undergraduate / Graduate Certificate in European Union Studies from the *EUIJ-Kansai* by completing several requirements. In addition to a bachelor's or master's degree granted by a home university, this certificate is granted by the *EUIJ-Kansai* to undergraduate or graduate students who have demonstrated required achievements in the EU studies.

Undergraduate Certificate in European Union Studies

1) Registration for the Undergraduate Certificate Programme

A student intending to complete the Undergraduate Certificate in European Union Studies must register for the undergraduate certificate programme with the *EUIJ-Kansai* office at his/her own university. A student must be enrolled in the programme for a minimum of two semesters.

2) Completion of the EU Studies courses

Broad curricula on the EU Studies are offered at the three member universities. The courses are grouped into seven categories (a–g). To obtain the Undergraduate Certificate in European Union Studies, a student must complete credits in at least one course from three categories as well as (a) Introductory Module. Taking a multidisciplinary approach to the EU Studies that encompasses history, law, politics, economics, natural science and culture should help students deepen their understanding of the EU.

The EU Studies courses are offered at all of the three member universities. Regardless of where they are granted, credits in the EU Studies courses will be recognised as those needed to obtain the Certificate.

3) Research papers on the EU

To cap off his/her EU studies, a student must present a research paper on the EU. (Paper Proposed: up to 20,000 words in Japanese; up to 10,000 words in English, French or German.) A student may seek academic advice from a supervisor. If the paper is judged to have reached an acceptable level, credits will be granted.

A student who wrote an outstanding paper will be given an opportunity to participate in the EU Studies Colloquium.

Graduate Certificate on European Union Studies

A) Registration for the Graduate Certificate Programme

A student intending to complete a Graduate Certificate

in European Union Studies must register for the graduate certificate programme with the *EUIJ-Kansai* office at his/her own university. A student must be enrolled in the programme for a minimum of two semesters.

B) Completion of the EU Studies courses

Broad curricula on the EU Studies are offered at the three *EUIJ-Kansai* member universities. The courses are grouped into four categories (a-d). To obtain the Graduate Certificate in European Union Studies, a student must complete two credits from (a) Core Module, and at least eight credits from the other courses. The EU Studies courses are offered at all of the three member universities. A student may take any courses given at the member universities.

C) Research papers on the EU

To cap off their EU studies, a student must present a research paper on the EU. (Paper Proposed: up to 20,000 words in Japanese; up to 10,000 words in English, French or German.) A student may seek academic advice from a supervisor. If the paper is judged to have reached an acceptable level, credits will be granted.

A student who wrote an outstanding paper will be given an opportunity to participate in the EU Studies Colloquium.

EU-related Curriculum Activities

The Certificate Programme in EU Studies started on 1 April 2005. The number of participating students in the programme as of 1 April 2005 was only 21,however, as of 1 October 2011 it was increased to 135, (74 Undergraduates and 61 Graduates.)

8 dissertations, 3 by Undergraduates and 5 by Graduates, were submitted to the *EUIJ-Kansai* and all of them were awarded the Certificate of the *EUIJ-Kansai*.

Colloquium

The *EUIJ-Kansai* holds Colloquium in March every year. If a student's dissertation is recognised as outstanding, he/she is offered the opportunity to participate in the EU Studies Colloquium, where many students are invited to present their research findings in either English, French or German in front of a jury that comprises staff from the Delegation of the European Union to Japan, diplomat and researchers from the Member States, professors of *EUIJ-Kansai*.

The result of 6th EU Studies Colloquium in March 2012

Best Defence of the Year:

Ms. Sawako Oba
(Graduate School of Law, Kobe University)

EUIJ-Kansai Award:

Ms. Monika Ostrowska
(Osaka School of International Public Policy, Osaka University)

◆学部生のためのEU科目:平成23年度(2011年度)

開講大学での科目名	開講大学・学部	担当教員
(a) 導入科目群		
西洋政治史	神戸大学 法学部	安井
ヨーロッパ経済論	神戸大学 経済学部	久保
コース共通特論A(107)	関西学院大学 商学部	ローリンソン
経済事情C(2011)(EUの経済政策A)	関西学院大学 経済学部	ローリンソン
経済事情A(2008)(EUと現代ヨーロッパ経済A(2008))	関西学院大学 経済学部	吉川
キリスト教と美術A	関西学院大学 神学部	山田
ヨーロッパ文化史とキリスト教B	関西学院大学 神学部	山田
総合3-2510拡大・深化する欧州の新たな挑戦「危機を超えて進むEUの戦略」	関西学院大学 全学科目(教務部教務課)	井口
ヨーロッパ政治史	大阪大学 法学部	小野
現代ヨーロッパ政治	大阪大学 法学部	木戸
(b) 歴史科目群		
西洋法史	神戸大学 法学部	瀧澤
上級欧州統合史	神戸大学 経済学部	奥西
キリスト教の歴史(古代~中世)	関西学院大学 神学部	岩野
キリスト教の歴史(宗教改革以降)	関西学院大学 神学部	岩野
西洋法制史	大阪大学 法学部	三成
西洋経済史	大阪大学 経済学部	重富
経済史	大阪大学 経済学部	鴋澤
(c) 法律・政治科目群		
国際関係論	神戸大学 法学部	増島
国際機構法	神戸大学 法学部	柴田
国際関係論 1	神戸大学 法学部	栗栖
対外政策論	神戸大学 法学部	大村
外国書講読(仏書)	神戸大学 法学部	興津
社会保障法	神戸大学 法学部	関根
環境法	神戸大学 法学部	島村
西洋政治思想史B	関西学院大学 法学部	岡本
国際協力論	関西学院大学 法学部	望月
西洋法史A	関西学院大学 法学部	黒田
西洋法史B	関西学院大学 法学部	深尾
国際関係特別演習A 4	関西学院大学 法学部	ローリンソン
国際関係特別演習B 3	関西学院大学 法学部	ローリンソン

◆Undergraduate Certificate in European Union Studies (2011) : EU-related courses

EU-related courses EU-related courses	Venues	Teachers
(a) Introductory Module	1	
European Political History	Faculty of Law Kobe University	Yasui
European Economy	Faculty of Economics Kobe University	Kubo
Economic Policy in the EU	School of Business Administration Kwansei Gakuin University	Rawlinson
Economic Policy in the EU A	School of Economics Kwansei Gakuin University	Rawlinson
EU and Contemporary European Economics A(2008)	School of Economics Kwansei Gakuin University	Kikkawa
Christianity and Art History A	School of Theology Kwansei Gakuin University	Yamada
European Tradition and Christianity B	School of Theology Kwansei Gakuin University	Yamada
New Challenge of Expanding and Deepening Europe	Kwansei Gakuin University	Iguchi
European Political History	School of Law Osaka University	Ono
Contemporary European Politics	School of Law Osaka University	Kido
(b) History Module		
Western Legal History	Faculty of Law Kobe University	Takizawa
Advanced History of European Integration	Faculty of Economics Kobe University	Okunishi
Intro to History of Christianity - Medieval Age	School of Theology Kwansei Gakuin University	lwano
History of Christianity: Reform to the Present	School of Theology Kwansei Gakuin University	lwano
European Legal History	School of Law Osaka University	Mitsunari
European Economic History	School of Economics Osaka University	Shigetomi
Economic and Social History	School of Economics Osaka University	Banzawa
(c) Law and Politics Module		
History of International Relations	Faculty of Law Kobe University	Masujima
Law of International Organisation	Faculty of Law Kobe University	Shibata
International Relations	Faculty of Law Kobe University	Kurusu
Modern Diplomacy	Faculty of Law Kobe University	Omura
Readings in European Law	Faculty of Law Kobe University	Okitsu
Social Security Law	Faculty of Law Kobe University	Sekine
Environmental Law	Faculty of Law Kobe University	Shimamura
History of Western Political Philosophy B	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Okamoto
International Cooperation	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Mochizuki
European Legal History A	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Kuroda
European Legal History B	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Fukao
Spec.Seminar of International RelationsA	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Rawlinson
Spec.Seminar of International RelationsB	School of Law and Politics Kwansei Gakuin University	Rawlinson

10 | 教育・研究活動 Academic & Research Activities | 11

開講大学での科目名	開講大学・学部	担当教員
(c) 法律・政治科目群		
ローマ法	大阪大学 法学部	林
国際経済法	大阪大学 法学部	内記
西洋政治思想史	大阪大学 法学部	竹中 (浩)
国際法2	大阪大学 法学部	村上
(d) 経済科目群		
現代技術論	神戸大学 経済学部	田中
ロシア・東欧経済論	神戸大学経済学部	吉井
上級ファイナンス	神戸大学経済学部	岩壺
貨幣論	神戸大学 経済学部	藤田
経済地理学	神戸大学 経済学部	中川
経済地誌(ヨーロッパ)	神戸大学 経済学部	中川
経済事情B(2008)(EUと現代ヨーロッパ経済B(2008))	関西学院大学 経済学部	吉川
ヨーロッパの経済と企業	関西学院大学 経済学部	ローリンソン
Economies and Business Management in Europe	関西学院大学 国際学部	ブングシェ
Economies, Industries and Business Enterprises in Europe	関西学院大学 国際学部	ブングシェ
国際金融	大阪大学 経済学部	高木
特殊講義(地域統合)	大阪大学 経済学部	利
(e) 科学·技術科目群		
教養原論:科学史	神戸大学 全学共通授業科目	三浦
近代建築史	神戸大学 工学部	足立
西洋建築史	神戸大学 工学部	足立
政策課題研究A	関西学院大学 総合政策学部	中野
政策課題研究E	関西学院大学 総合政策学部	中野
(f) 文化・社会科目群		
スラヴ文化論	神戸大学 国際文化学部	小椋
宗教文化論	神戸大学 国際文化学部	野谷
国際関係論	神戸大学 国際文化学部	坂井
ランドスケープ・デザイン	関西学院大学 総合政策学部	加藤
ヨーロッパ思想史	関西学院大学 総合政策学部	鎌田
(g) 招聘講師による集中講義		
Advanced transportation planning and operations in the European Union	神戸大学 経済学部	ダドゥーナ
特殊講義-Incoming Visitors Programme	大阪大学 国際公共政策研究科	ブラック
ヨーロッパ法	大阪大学 法学部	シュトルク

Roman Law Carbonitics Module Roman Law Carbonitic Carboni	EU-related courses	Venues	Teachers
International Economic Law International Law 2 School of Law Osaka University International Economics Robe University International Finance International Finance School of International Studies Robe University International Finance Robe University International Finance Robe University International Finance Robe University International Finance Robe University Robe of Economics Robe University International Finance Robe University Robe of Economics Robe of Econo	(c) Law and Politics Module		
International Economics Law Osaka University School of Luw Osaka University Osaka University Tokenaka International Law 2 School of Luw Osaka University Osaka	Roman Law		Hayashi
International Law 2 (d) Economics Module Economics of Modern Technology Russian and East European Economics Robe University Advanced Finance Advanced Finance Faculty of Economics Robe University Nestado Advanced Finance Faculty of Economics Robe University Nestado Faculty of Economics Robe University Nestagowa Faculty of Economics Robe University Robe University Faculty of Economics Robe University Robe University Faculty of Economics Robe University Robe University Faculty of Economics Robe University Robe Un	International Economic Law		Naiki
International Law 2 (d) Economics Module Economics of Modern Technology Russian and East European Economies Russian and East European Economies Advanced Finance Advanced Finance Faculty of Economics Robe University Regional Geography of Europe for Economics (Robe University) Regional Geography of Europe for Economics (Robe University) Faculty of Economics Robe University Regional Geography of Europe for Economics (Robe University) Faculty of Economics Robe University Regional Geography of Europe for Economics (Robe University) Faculty of Economics Robe University Regional Geography of Europe for Economics (Robe University) Regional Geography of European Economics (Robe University) Faculty of Economics Robe University Regional Geography of European Economics (Robe University) Robe University Robe Univer	History of European Political Thought		Takenaka
Economics of Modern Technology Faculty of Economics Kobe University Russian and East European Economics Russian and East European Economics Advanced Finance Advanced Finance Faculty of Economics Kobe University From Money Faculty of Economics Kobe University Form Money Faculty of Economics Kobe University Form Money Faculty of Economics Kobe University Form Money Faculty of Economics Kobe University Regional Geography of Europe for Economists Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Faculty of Economics Faculty of Economics Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Fa	International Law 2		Murakami
Russian and East European Economies Russian and East European Economies Raculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Faculty of Intercultural Studies Faculty of Intercultural Studies Faculty of Intercultural Studies	(d) Economics Module		
Advanced Finance Advanced Finance Advanced Finance Advanced Finance Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Robe University Faculty of Economics Robe University Regional Geography Regional Geography of Europe for Economists Faculty of Economics Robe University Faculty of Engineering Robe University Faculty of Intercultural Studies Robe University Faculty of Intercultural	Economics of Modern Technology		Tanaka
Theory of Money Theory of Money Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Kobe University Regional Geography Regional Geography of Europe for Economics Kobe University Regional Geography of Europe for Economics Kobe University EU and Contemporary European Economics B(2008) School of Economics Kobe University ECOnomics Industries and Business Enterprises in Europe School of Economics Kwansel Gakuin University Economies and Business Management in Europe School of International Studies Kwansel Gakuin University Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Kwansel Gakuin University Bungsche School of Economics Gaku Iniversity Special Lecture on Regional Integration School of Economics Gaku University Special Lecture on Regional Integration School of Economics Gaku Iniversity School of Economics Gaku Iniversity Adachi European Modern Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi School of Policy Studies Kwansel Gakuin University Nakano Region in Cultural Formation Region in Cultural Formation Faculty of Iniprecultural Studies Kwansel Gakuin University Region in Cultural Formation Faculty of Iniprecultural Studies Kwansel Gakuin University Region in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kwansel Gakuin University Region in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Faculty	Russian and East European Economies		Yoshii
Economic Geography Economic Geography Faculty of Economics Robe University Faculty of Economics Robe University Regional Geography of Europe for Economists Faculty of Economics Robe University Regional Geography of European Economics Robe University Regional Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Romanse Gakuin University Reconomies and Business Management in Europe School of International Studies Romanse Gakuin University Reconomies, Industries and Business Enterprises in Europe School of Economics Romanse Gakuin University Robe University Reconomics Robe University Religion in Cultural Formation Robe University Robe University Religion in Cultural Formation Robe University R	Advanced Finance		lwatsubo
Regional Geography of Europea for Economists Regional Geography of European Economists Regional Geography of European Economists Robe University Regional Geography of European Economists Robe University Regional Geography of European Economists Robe University Revansel Gakuin University Rev	Theory of Money		Fujita
EU and Contemporary European Economics B(2008) EU and Contemporary European Economics B(2008) Economies, Industries and Business Enterprises in Europe Economies and Business Management in Europe Economies and Business Management in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe Economies and Business Management in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of Economics Cosake University European Recipional Integration Economics Cosake University European Modern Architecture European Modern Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Information and Communication Industry European Information Industry Eur	Economic Geography		Nakagawa
Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of Economics Kwansel Gakuin University Rawlinson Economies and Business Management in Europe School of International Studies Kwansel Gakuin University Bungsche Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Kwansel Gakuin University Bungsche Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Kwansel Gakuin University Bungsche Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of Economics Osaka University Special Lecture on Regional Integration School of Economics Osaka University Lee (e) Science and Technology Module History of European Science and Technology Liberal Arts and Sciences Kobe University Miura European Modern Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansel Gakuin University Nakano European Information and Communication Industry School of Policy Studies Kwansel Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kwansel Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin University Kato Kanalis Gakuin Universit	Regional Geography of Europe for Economists		Nakagawa
Economies, industries and Business Enterprises in Europe Economies and Business Management in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Kwansei Gakuin University Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of Economies School of Economies School of Economies School of Economies Cosaka University Lee (e) Science and Technology Module History of European Science and Technology Liberal Arts and Sciences Kobe University Miura European Modern Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano European Information and Communication Industry School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano Coulture and Society Module Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Kato Kato Kato Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard Public Policy Daska School of International Faculty of Intercultural Studies Kobe University Kato Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard Public Policy Osaka School of International Faculty of International Faculty of International Paculty of International Paculty of International Paculty of International Paculty of International Faculty of International Paculty of International Pac	EU and Contemporary European Economics B(2008)		Kikkawa
Economies and Business Management in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe Economies, Industries and Business Enterprises in Europe School of International Studies Kwansei Gakuin University School of Economics Osaka University Special Lecture on Regional Integration School of Economics Osaka University Lee Special Lecture on Regional Integration School of Economics Osaka University Lee Liberal Arts and Sciences Kobe University Adachi European Modern Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Rakano (f) Culture and Society Module Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Rakai European Urban Design Faculty of Intercultural Studies Kobe University Kato School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Ratio Faculty of Intercultural Studies Kobe University Ratio School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Ratio Faculty of Intercultural Studies Kobe University Ratio Faculty of Intercultural Studies Kwansei Gakuin University Kato Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics Kobe University Faculty of Economics	Economies, Industries and Business Enterprises in Europe		Rawlinson
International Finance International Finance School of Economics Osaka University Special Lecture on Regional Integration School of Economics Osaka University Lee (e) Science and Technology Module History of European Science and Technology European Modern Architecture European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Notani Notani Introduction to International Relations European Urban Design Faculty of Intercultural Studies Kwansei Gakuin University School of Policy Studies Kobe University Notani Notani Notani School of Policy Studies Kobe University School of Policy Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Policy Studies Kwansei Gakuin University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Furopean Urban Design Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law School of Law School of Law School of Law	Economies and Business Management in Europe		Bungsche
International Finance Quarka University Special Lecture on Regional Integration School of Economics Quark University Lee (e) Science and Technology Module History of European Science and Technology European Modern Architecture European Architecture European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe European Information and Communication Industry Faculty of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kobe University Notani Paculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kobe University Kato History of European Thought European Urban Design European Urban Design Adachi Faculty of Intercultural Studies Kobe University Kato Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society Furopean I aw School of Law Storck	Economies, Industries and Business Enterprises in Europe		Bungsche
(e) Science and Technology Module History of European Science and Technology European Modern Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Information and Communication Industry Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Introduction to International Relations European Urban Design History of European Thought Gold Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society European Inw European Intercept Wood Intercution International Place Black Blac	International Finance		Takagi
History of European Science and Technology Liberal Arts and Sciences Kobe University European Modern Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Religion in Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Notani Introduction to International Relations European Urban Design Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kobe University Notani School of Policy Studies Kobe University Kato Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani School of Policy Studies Kobe University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Stock	Special Lecture on Regional Integration		Lee
European Modern Architecture European Modern Architecture European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi European Architecture Faculty of Engineering Kobe University Adachi Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University European Information and Communication Industry School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Sakai European Urban Design School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Faculty of Economics Kobe University Daduna Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Storck	(e) Science and Technology Module		
European Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Architecture European Information and Communication Industry School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano Religion in Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought European Thought Adachi Adachi Adachi Adachi Adachi Adachi Adachi School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society European Law School of Law Storck	History of European Science and Technology		Miura
Science and Technology in Europe Science and Technology in Europe School of Policy Studies Kwansei Gakuin University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Faculty of Intercultural Studies Kobe University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato Kato Kato Kato Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Storck School of Law Storck	European Modern Architecture		Adachi
European Information and Communication Industry European Information and Communication Industry School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano (f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard Public Policy Osaka University Furopean Law School of Law Storck	European Architecture	, ,	Adachi
(f) Culture and Society Module Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Notani Faculty of Intercultural Studies Kobe University Faculty of Intercultural Studies Kobe University Sakai European Urban Design School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard Public Policy Osaka University Furnpean Law School of Law Storck	Science and Technology in Europe		Nakano
Slavic Cultures Faculty of Intercultural Studies Kobe University Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Faculty of Intercultural Studies Kobe University School of Policy Studies Kwansei Gakuin University History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard Public Policy Osaka University Furnpean Law School of Law Storck	European Information and Communication Industry		Nakano
Religion in Cultural Formation Religion in Cultural Formation Faculty of Intercultural Studies Kobe University Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University Sakai European Urban Design School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Faculty of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Storck	(f) Culture and Society Module		
Introduction to International Relations Faculty of Intercultural Studies Kobe University European Urban Design School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Faculty of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata Kamata Kamata Kamata Kamata Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society Furneean Law School of Law School of International Studies Kamata Kato Kato Calculty of Economics Kobe University Daduna Osaka School of International Public Policy Osaka University School of Law Storck	Slavic Cultures		Ogura
European Urban Design European Urban Design School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kato School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata Kamata Gulty of Economics Kobe University Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Storck	Religion in Cultural Formation		Notani
History of European Thought School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Kamata (g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society School of Law Storck	Introduction to International Relations		Sakai
(g) Incoming Visitors Programme Advanced transportation planning and operations in the European Union Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society Kwansei Gakuin University Faculty of Economics Kobe University Osaka School of International Public Policy Osaka University School of Law Storck	European Urban Design		Kato
Advanced transportation planning and operations in the European Union Faculty of Economics Kobe University Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society Osaka School of International Public Policy Osaka University School of Law Storck	History of European Thought		Kamata
Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society Kobe Úniversity Osaka School of International Public Policy Osaka University School of Law Storck	(g) Incoming Visitors Programme		
Public Policy Osaka University School of Law Storck	Advanced transportation planning and operations in the European Union		Daduna
Furonean Law Storck		Public Policy	Black
	European Law		Storck

12 | 教育・研究活動 Academic & Research Activities | 13

◆院生のためのEU科目:平成23年度(2011年度)

開講大学での科目名	開講大学・研究科	担当教員
(a) 共通科目群		
ヨーロッパ経済論(EUとユーロの経済学)	神戸大学大学院 経済学研究科	久保
統合史	神戸大学大学院 経済学研究科	奥西
西洋法史/西洋法制史特殊講義	大阪大学大学院 法学研究科	三成
ヨーロッパ政治史/ヨーロッパ政治史特殊講義	大阪大学大学院 法学研究科	小野
公共経済学	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	赤井
プロジェクト演習 リーダーシップを考える	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	野村(美)
プロジェクト演習 リーダーシップデザイン	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	木川田
特殊講義 国際公共政策入門	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	村上 他
国際法	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	内記
プロジェクト演習 公共政策ワークショップ	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	大槻・赤井・ 小原・瀧井・石
公共政策丨	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	星野
国際人権法	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	村上
プロジェクト演習 国際安全保障ワークショップ	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	星野・真山
国際公共政策のための法律学	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	大久保
(b) 経済科目群		
International Finance	神戸大学大学院 経済学研究科	クラフチック
ファイナンス	神戸大学大学院 経済学研究科	岩壷
Transportation planning and operations in the European Union	神戸大学大学院 経済学研究科	ダドゥーナ
経済学特殊問題Ⅲ(EUの経済政策)	関西学院大学大学院 経済学研究科	ローリンソン
経済学特殊問題IV(現代のEU経済と政策)	関西学院大学大学院 経済学研究科	ローリンソン
現代経済史	関西学院大学大学院 経済学研究科	藤井
商学特別講義(EU自動車産業の構造と発展A-戦略的視点-)	関西学院大学大学院 商学研究科	ブングシェ
商学特別講義(EU自動車産業の構造と発展B-戦略的視点-)	関西学院大学大学院 商学研究科	ブングシェ
資源エネルギー政策	関西学院大学大学院 総合政策研究科	中野
西洋経済史Ⅰ	大阪大学大学院 経済学研究科	山本(千)
西洋経済史Ⅱ	大阪大学大学院 経済学研究科	山本(千)
西洋経営史 [大阪大学大学院 経済学研究科	鴋澤
西洋経営史Ⅱ	大阪大学大学院 経済学研究科	鴋澤
国際金融政策Ⅰ	大阪大学大学院 経済学研究科	高木
国際金融政策Ⅱ	大阪大学大学院 経済学研究科	高木
比較経営史 I	大阪大学大学院 経済学研究科	阿部 (武)

◆Graduate Certificate in European Union Studies (2011): EU-related courses

History of European Integration Graduate School of Economics Kobe University European Legal History Graduate School of Law and Politics Osaka University European Political History Graduate School of Law and Politics Osaka University Graduate School of Law and Politics Osaka University Ono Public Economics Osaka School of International Public Policy Osaka University Designing Leadership Seriously Designing Leadership Designing Leadership Designing Leadership Osaka School of International Public Policy Osaka University Introduction to International Public Policy Osaka School of International Public Policy Osaka University Murakami International Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University International Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University	EU-related courses	Venues	Teachers
European Legal History Fision of European Integration Fision of European Integration Fision of European Integration Fision of European Integration Fision of European Political History Fision of Fision of Fision Political	(a) Core Module		
European Legal History European Legal History European Political History Graduate School of Law and Politics Chair Commission European Political History Graduate School of International Public Policy Osaka University Designing Loadership Seriously Designing Loadership Seriously Designing Loadership Public Policy Osaka University Designing Loadership Design Coska School of International Public Policy Coska University Designing Loadership Designin	European Economy		Kubo
European Political History Graduate School of International Public Policy Osaka University Designing Leadership Seriously Designing Leadership Seriously Designing Leadership Seriously Designing Leadership Design Leadership Designing Leadership Designing Leadership Designing Leadership Design Leadership	History of European Integration		Okunishi
Public Economics Daska School of International Public Policy Disks University Nomura	European Legal History		Mitsunari
Public Policy Osaka University Taking Leadership Seriously Designing Leadership Seriously Designing Leadership Des	European Political History		Ono
Public Policy Osaka University Nomura	Public Economics		Akai
Public Policy Osaka University International Public Policy Osaka School of International Public Policy Osaka University International Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University International Human Rights Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Introduction to Legal Studies for International Public Policy Osaka University International Finance Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka Osaka Osaka University Osaka Universit	Taking Leadership Seriously		Nomura
International Law Public Policy Osaka University International Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka Unive	Designing Leadership		Kikawada
Public Policy Osaka University Public Policy I Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Osaka University Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Students Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of International Public Policy Students Osaka School of International Public Policy Osaka University Osaka School of Economics International Finance Osaka University Osaka University International Finance Osaka University Osaka Universit	ntroduction to International Public Policy		Murakami
Public Policy Workshop Osaka School of International Public Policy Osaka University Ishibashi Ishibashi Public Policy Osaka University Public Policy Public Policy Public Policy Public Policy Public Policy Public Public Policy Public	nternational Law		Naiki
Public Policy Osaka University International Human Rights Law Osaka School of International Public Policy Osaka University Okubo Transportation International Public Policy Students Of Graduate School of Economics Kobe University Okubo Transportation planning and operations in the European Union October University	Public Policy Workshop		
Morkshop on International Furnan Rights Law Workshop on International Security Osaka School of International Public Policy Osaka University Okubo Osaka School of International Public Policy Osaka University International Finance Graduate School of Economics Robe University Graduate School of Economics Robe University Finance Graduate School of Economics Robe University Fujii Graduate School of Economics Robe University Fujii Structure and Development of EU Automobile Industry A Graduate School of Business Administration Kwansie Gakuin University Graduate School of Business Administration Kwansie Gakuin University Fujii Graduate School of Policy Studies Robe of Business Administration Kwansie Gakuin University Fujii Producte School of Policy Studies Robe of Economics Osaka University Western (European) Economic and Social History I Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Fujii Product School of Economics Osaka Unive	Public Policy I		Hoshino
Nayama Introduction to Legal Studies for International Public Policy Students Disaka School of International Public Policy Osaka University Disaka School of International Public Policy Osaka University Disaka School of Economics Robe University Finance Graduate School of Economics Kobe University Finance Finance Graduate School of Economics Kobe University Finance Graduate School of Economics Kobe University Finance Finance Graduate School of Economics Finance Finance Graduate School of Economics Cobe University Finance Finance Graduate School of Economics Cobe University Finance Finance Graduate School of Economics Cobe University Finance	nternational Human Rights Law		Murakami
public Policy Osaka University Description Descriptio	Norkshop on International Security		
Transportation planning and operations in the European Union Graduate School of Economics Kobe University Economic Policies in the EU Graduate School of Economics Kobe University Graduate School of Economics Graduate School of Economics Kobe University Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Graduate School of Folicy Studies Kwansei Gakuin University Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Western (European) Economic and Social History I Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Mestern (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Mestern (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Graduate School of Economics Osaka University Takagi	ntroduction to Legal Studies for International Public Policy Students		Okubo
Kobe University Kobe University Kobe University Indiversity International Finance Kobe University International Finance Kobe University International Finance Kobe University Kobe University International Finance Rawlinson International Finance Rawlinson Rawlin	(b) Economics Module		
Transportation planning and operations in the European Union Graduate School of Economics Kobe University Economic Policies in the EU Graduate School of Economics Rawlinson Contemporary European Economy and Policies Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Fujii Structure and Development of EU Automobile Industry A Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Structure and Development of EU Automobile Industry B Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Policies on Energy Resources Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Graduate School of Feonomics Osaka University Western (European) Economic and Social History I Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Janamoto Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Janamoto Jakagi Jakagi Jakagi Comparative Business History I	International Finance		Krawczyk
Iransportation planning and operations in the European Union Kobe University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Modern Economic History Modern Economic History Modern Economic History Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Structure and Development of EU Automobile Industry A Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Policies on Energy Resources Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano Western (European) Economic and Social History I Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Banzawa International Finance I Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Comparative Business History I Graduate School of Economics Osaka University Takagi	Finance		lwatsubo
Kwansei Gakuin University Contemporary European Economy and Policies Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Graduate School of Economics Kwansei Gakuin University Structure and Development of EU Automobile Industry A Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Structure and Development of EU Automobile Industry B Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Fujii Bungsche Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Fujii Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Fujii Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Fujii Bungsche Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Fujii Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Fujii Bungsche Graduate School of Fconomics Osaka University Fujii Bungsche Graduate School of Economics Osaka University Fujii Fujiii Fujii Fujiii	Transportation planning and operations in the European Union		Daduna
Modern Economic History Modern Economic Histo	Economic Policies in the EU		Rawlinson
Kwansei Gakuin University Fujil Structure and Development of EU Automobile Industry A Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Structure and Development of EU Automobile Industry B Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Fujil Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Bungsche Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Fujil Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Fujil Bungsche Fujil Bungsche Fujil Fujii Fujiii Fujii Fujii Fujii Fujiii Fujiii Fujiii Fujii Fujiii Fujiii	Contemporary European Economy and Policies		Rawlinson
Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Structure and Development of EU Automobile Industry B Graduate School of Business Administration Kwansei Gakuin University Bungsche Policies on Energy Resources Graduate School of Policy Studies Kwansei Gakuin University Nakano Western (European) Economic and Social History I Western (European) Economic and Social History II Graduate School of Economics Osaka University Yamamoto Graduate School of Economics Osaka University Yamamoto Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History I Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Banzawa Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Comparative Business History I Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi	Modern Economic History		Fujii
Administration Kwansei Gakuin University Policies on Energy Resources Western (European) Economic and Social History I Western (European) Economic and Social History II Western (European) Economic and Social History II Western (European) Business History I Western (European) Business History II Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Formula School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Comparative Rusiness History II Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Comparative Rusiness History II Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi	Structure and Development of EU Automobile Industry A		Bungsche
Western (European) Economic and Social History I Western (European) Economic and Social History II Western (European) Economic and Social History II Western (European) Economic and Social History II Western (European) Business History I Western (European) Business History I Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Takagi International Finance II Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University	Structure and Development of EU Automobile Industry B		Bungsche
Western (European) Economic and Social History I Western (European) Economic and Social History II Western (European) Economic and Social History II Western (European) Business History I Western (European) Business History I Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University Banzawa Banzawa Graduate School of Economics Osaka University International Finance I Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Comparative Rusiness History II Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University	Policies on Energy Resources		Nakano
Western (European) Economic and Social History II Osaka University Western (European) Business History I Western (European) Business History II Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Banzawa Banzawa Takagi International Finance II Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University	Western (European) Economic and Social History I		Yamamoto
Western (European) Business History II Western (European) Business History II Graduate School of Economics Osaka University History II Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Takagi Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University	Western (European) Economic and Social History II		Yamamoto
Mestern (European) Business History II Osaka University Banzawa Graduate School of Economics Osaka University Takagi Takagi Takagi Takagi Comparative Business History I Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Osaka University	Western (European) Business History I		Banzawa
nternational Finance I Osaka University International Finance II Osaka University Graduate School of Economics Osaka University Graduate School of Economics Abe	Western (European) Business History II		Banzawa
Osaka University Osaka University Graduate School of Economics Abe	nternational Finance I		Takagi
Omnarative Business History I	nternational Finance II		Takagi
	Comparative Business History I		Abe

| 14 | 教育・研究活動 Academic & Research Activities | 15

開講大学での科目名	開講大学・研究科	担当教員
(b) 経済科目群		
比較経営史Ⅱ	大阪大学大学院 経済学研究科	阿部 (武)
政策データ分析法	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	松繁
寺殊講義 国際経済政策 l	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	野村(茂)
プロジェクト演習 政府組織と行財政改革	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	赤井
プロジェクト演習 政策実証分析	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	山内
プロジェクト演習 市民社会研究	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	山内
寺殊講義(国際貿易政策)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	利
寺殊講義(地域統合)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	利
c) 法律・政治科目群		
西洋法史特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	瀧澤
国際関係論特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	栗栖
実定法特殊講義(経済法)	神戸大学大学院 法学研究科	泉水
労働・社会保障法政策論特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	関根
国際民事法特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	齋藤
フランス法文献研究	神戸大学大学院 法学研究科	興津
国際関係論特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	増島
改治学特殊講義	神戸大学大学院 法学研究科	飯田 (文)
プローバル政治論	神戸大学大学院 国際協力研究科	西谷
国際人権法	神戸大学大学院 国際協力研究科	長岡
国際経済法	神戸大学大学院 国際協力研究科	小林
Special Lecture on International Cooperation Law	神戸大学大学院 国際協力研究科	ヘンリクセン
nternational Environmental Law	神戸大学大学院 国際協力研究科	柴田
国際法外交実務論	神戸大学大学院 国際協力研究科	毛利
多国間条約交渉論	神戸大学大学院 国際協力研究科	柴田
International Cooperation Law	神戸大学大学院 国際協力研究科	林
nternational Criminal Law	神戸大学大学院 国際協力研究科	古谷
憲法 2/憲法特殊講義2	大阪大学大学院 法学研究科	高井
国際私法/国際私法特殊講義	大阪大学大学院 法学研究科	長田
寺殊講義 紛争研究概論	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	松野
実習 ドイツ法	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	大久保
国際関係論	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	星野
寺殊講義(国際行政論)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	蓮生・松浦(晃)

EU-related courses	Venues	Teachers
(b) Economics Module Comparative Business History II	Graduate School of Economics Osaka University	Abe
Statistical Methods for Policy Analysis	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Kohsaka
International Economic Policy 1	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Nomura
Structure of Government and Reform of Public Administrative and Finance System	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Akai
Applied Policy Analysis	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Yamauchi
Civil Society Research	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Yamauchi
International Trade Policy and Empirical Analysis	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Lee
Regional Integration	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Lee
(c) Law and Politics Module		
European Legal History	Graduate School of Law Kobe University	Takizawa
European Diplomacy	Graduate School of Law Kobe University	Kurusu
European Competition Law	Graduate School of Law Kobe University	Izumi
European Social Law I	Graduate School of Law Kobe University	Sekine
European Private International Law	Graduate School of Law Kobe University	Saito
Readings in European Law	Graduate School of Law Kobe University	Sekine
EU and Developing Countries	Graduate School of Law Kobe University	Masujima
European Political Theories	Graduate School of Law Kobe University	lida
Transnational Social Movements in International Relations	Graduate School of International Cooperation Studies	Nishitani
International Human Rights Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Nagaoka
International Economic Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Kobayashi
Special Lecture on International Cooperation Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Henriksen
International Environmental Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Shibata
Diplomacy in International Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Mouri
Multilateral Treaty Negotiation	Graduate School of International Cooperation Studies	Shibata
International Cooperation Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Hayashi
International Criminal Law	Graduate School of International Cooperation Studies	Furuya
Constitutional Law 2	Graduate School of Law and Politics Osaka University	Takai
Private International Law	Graduate School of Law and Politics Osaka University	Nagata
Conflict Studies	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Matsuno
German Law	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Okubo
International Relations	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Hoshino

| 16 | 教育・研究活動 | Academic & Research Activities | 17

開講大学での科目名	開講大学・研究科	担当教員
(c) 法律・政治科目群		
外交論	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	中嶋
比較現代私法論	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	床谷
演習(軍事管理・軍縮論I)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	竹内
演習(平和研究)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	木戸
特殊講義(地域統合)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	利
プロジェクト演習(実践グローバル・リーダーシップ)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	野村 (美)・伊藤・ 多胡・南部
演習(ヨーロッパ人権保障体制)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	村上
国際金融	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	野村(美)
比較政治システム論	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	木戸
演習 (子どもと法)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	床谷
特殊講義(平和構築論)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	松野
演習(総合安全保障)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	星野
演習(多文化共生論)	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	河村
特殊講義 - Incoming Visitors Programme	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	ブラック
(d) 文化・社会科目群		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
イギリス宗教文化論特殊講義	神戸大学大学院 国際文化学研究科	野谷
スラヴ社会文化論特殊講義	神戸大学大学院 国際文化学研究科	石川

EU-related courses	Venues	Teachers
(c) Law and Politics Module	·	
The Art of Diplomacy	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Nakajima
Comparative Contemporary Private Law	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Tokotani
Arms Control and Disarmament II	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Takeuchi
Peace Studies	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Kido
Regional Integration	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Lee
Practice of Global Leadership	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Nomura · Ito · Tako · Nambu
European System of the Protection of Human Rights	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Murakami
International Finance II	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Nomura
Comparison of Political Systems	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Kido
Children's Rights and Child Protection in the 21st Century	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Tokotani
Peacebuilding	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Matsuno
Comprehensive Security	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Hoshino
Multicultural Coexistence	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Kawamura
Conceptualizing regional order in East Asia - the EU as a vanguard international society	Osaka School of International Public Policy Osaka University	Black
(d) Culture and Society Module	·	
Religion and Culture in Britain	Graduate School of Intercultural Studies Kobe University	Notani
Culture and Society in the Slavic World	Graduate School of Intercultural Studies Kobe University	Ishikawa

18 | 教育・研究活動 Academic & Research Activities | 19

合 宿

修了証プログラムに登録した学生達のEU研究の分析を深めること、一般学生達にEU研究に対する興 味を喚起すること、合宿期間中に学生同士で互いのEU研究に対する経験を話し合い、更にEUについ て理解を深めることを目的として毎年春・夏に開催します。

講師として、駐日欧州連合代表部の外交官、EU加盟国の外交官、国内外の企業の実務家、EU研究 の専門家を招聘して講演をして戴くほか、参加学生によるグループ学習を行い、最終日にその成果を発 表して討議します。2011年度は夏季合宿を2011年9月に、春季合宿を2012年2月に六甲保養荘で実 施しました。

2011年夏季合宿 2011年9月1-2日

(三日目は台風の影響で中止になり、9月19日に関西学院大学で行いました。)

2011年夏季合宿

A) 招聘講師によるレクチャー

羽場 久美子教授 青山学院大学国際政治経済学部 「東アジア共同体と、日米同盟、TPP ―地域間協力の急速な展開と、アジア地域統合のゆくえ」

尾上 修悟教授 西南学院大学経済学部 「ユーロ危機とEUの金融ガバナンス」

濱本 正太郎教授 京都大学大学院法学研究科 「EUはどこがどう「変」なのか? 一法的観点から」

レネ・ダイグナン氏 駐日欧州連合代表部 政治経済部経済担当官 「債務危機へのEUの対応」

木村 真依子氏 IKEA神戸 「IKEAの日本戦略」

B) グループ学習

参加学生35名によるグループ学習では「ギリシャは財政危機か ら脱却出来るか?」「東アジア共同体の行方は?」「EUの地中 海政策は?」の3つのテーマに分かれて行い、最終日に夫々の 肯定派、否定派の立場から発表して、ディベート形式で討議 しました。





2012年春季合宿

A) 招聘講師によるレクチャー

マエブ・コリンズ氏 駐日欧州連合代表部 公使、副代表 「EUとは?:日・EU関係」

藤田 俊弘氏 IDEC(株)常務執行役員·技術戦略本部長 「ものづくりサポーティングインダストリーにおける日・ EU企業間連携の実態-IDECにおける事業拡大・新技 術開発・国際標準化分野での日・EU協業の状況—」

ポール・ベーコン准教授 早稲田大学国際教養学部 EUIJ早稲田副代表 「EUの人権政策」

鳥潟 優子准教授 同志社女子大学現代社会学部 「フランス外交史とEU」

松野 明久教授 大阪大学大学院国際公共政策研究科 「EUと紛争解決・平和構築」

B) グループ学習

参加学生36名によるグループ学習では「EPA (経済連携協定) を締結すべきか?」、「EU経済の回復の見込みは?」「EUの制 度改革は必要か?」の3つのテーマに分かれて行い、最終日に 夫々の肯定派、否定派の立場から発表して、ディベート形式で 討議しました。





Intensive Workshops on the EU Issues

The EUIJ-Kansai offers Intensive EU Workshop bi-annually, spring and summer, for students who wish to enrol in the EU Studies Certificate Programme, whose objectives are a) to deepen analysis of students who may take part in the sixth Colloquium, b) to stimulate in general students to have interest in the EU affairs, c) to exchange students' experience to stay and study about the EU.

- 1) The first two days are dedicated to lectures by the EUIJ-Kansai academic staffs and invited guests, such as diplomats from the Delegation of the European Union, professors of other EUIJ, local community, and business circle, and group working on the selected EU topics.
- 2) On the last day the students are required to make oral presentations on each topic.

During the third year, the EUIJ-Kansai held Summer Workshop on 1-2 September and Spring Workshop on 27-29 February at the "Rokko Rest House". Third day of Summer Workshop, which is debate day, was suspended due to a typhoon, and debate session was held on 19 September at Kwansei Gakuin University.

Summer Workshop in 2011

1) Guest lecturers and their topics:

Prof. Kumiko Haba,

(School of International Politics, Economics and Communication, Aoyama Gakuin University)

"East Asian Communities, Japan-US Alliance, and the TPP-Swift Development of the Trans:

Regional Cooperation in Asia and the Way of the Asian Regional Integration"

Prof. Shugo Onoe,

(Department of Economics, Seinan Gakuin University)

"A Crisis of the Euro and the Financial Governance in the EU"

Prof. Shotaro Hamamoto,

(Graduate School of Law, Kyoto University)

"How to Identify an Unidentified Political Object: Legal Aspects of European Integration "

Mr. Rene Duignan,

(Chief Economist, Political and Economic Section, the Delegation of the European Union to Japan)

"EU Responses to the Sovereign Debt Crisis"

Ms. Maiko Kimura, (Store Manager, IKEA Japan)

"IKEA Strategy in Japan"

2) Topics of group work:

35 students were divided into three groups by the topics of "Greek Debt Crisis", "East Asian Community" and "Mediterranean Policy". And each group was again divided into "Yes" group and "No" group.





Spring Workshop in 2012

1) Guest speakers and their topics:

Ms. Maeve Collins,

(Minister, Deputy Head of the Delegation of the European Union to Japan) "The EU and EU-Japan Relations"

Dr. Toshihiro Fujita, (Vice President, Chief Technology Officer, IDEC Corporation)

"The Current Situation in EU-Japan Business Partnership "

Associate Prof. Paul Bacon. (School of International Liberal Studies Waseda University, Vice President of the EUIJ-Waseda)

"The Human Rights Policy of the EU"

Associate Prof. Yuko Torikata,

(Graduate School of International Social System Studies)

"French Diplomatic History and the EU"

Prof. Akihisa Matsuno,

(Osaka School of International Public Policy, Osaka University)

"EU's Approach to Conflict Resolution and Peacebuilding"

2) Topics of Group Work:

36 students, including 1 Undergraduate student from EUIJ-Waseda were divided into three groups by the topics of "EPA". "Economic Recovery" and "Structural Reforms". And each group was again divided into "Yes" group and "No"



奨学金・インターシップ助成 プログラム

● 奨学金プログラム

第3年度で、EUIJ関西は大学院後期課程5名、前期課程2名、学部生2名の計9名に奨学金の授与を行いました。奨学金の目的は、EU研究のためにEU加盟国に渡航する学生の研究旅行に対する助成と日本におけるEU研究の発展に寄与しうる人材の育成にあります。EU加盟国への研究旅行は、総ての分野の研究が対象です。第3年度で、インターンシップも募集しましたが、残念ながら応募者はいませんでした。

学生からの報告

研究調査旅行報告書(抜粋)

神戸大学 経済学部 島田 郁子

今回の調査旅行はヨーロッパ諸国を訪れ、各地域における 都市の再開発政策の実態を視察するというものであった。日 常生活を通して市民の暮らしをよく理解するためイタリアから スタートしてベルギー、オランダ、フランス、ドイツへ移動した。

①フィレンツェ

フィレンツェは芸術文化都市であり、文化の保護に力を入れており、街全体が文化として保護されている。建物の高さ、壁や窓の色が全て統一され、馬を繋ぐための輪が至る所の壁に残っており、ワインを渡す小さな窓が残っているなど、昔の生活で使われていたものがそのまま残されていた。自動車が無かった時代に設計された街であるため、市街地の道路は十分な広さは無く、車よりもバイクによる移動の方が多く見られた。フィレンツェでの生活を通じて、伝統的な文化と現代生活の共存ができていると実感した。ただの遺産ではなく、その土地の人々が歴史とともに生活しているからこそ、世界中から観光客を集められるのではないかと思う。

②ジェノバ

ジェノバでは、アーバンプログラムで行われたジェノバ市の 再開発を視察した。再開発事業は、官民一体型の事業であり、 都市の活性化に貢献するような地元ニーズに即した新しい公共 サービスであることを計画の主眼に置いている。プログラムの 第一期は、歴史との関わり合いを強調した「都市再生プログ ラム及び持続可能な広域開発」として計画された。また、第 二期は、高失業率、劣悪な居住環境、都市施設や公共サー ビスの悪化、犯罪などの問題を抱えた「衰退都市」が対象と された。ジェノバ市はイタリアで唯一アーバン・プログラムの第 ー・第二の両期において補助対策を受けた都市であった。ジェ ノバ市の歴史的都心部は、ヨーロッパで最も高密であり、中 世の大衆向けアパートや元貴族所有の上品な建物や第二次大 戦中に立てられた粗悪住宅が密集している。街の発展の最盛 期に、住宅や商業施設が旧市街地終焉部や郊外に転出した結果、歴史的都心部は、地理的・機能的中心性を失い、急速に衰退していった。歴史的価値のある建物の保存と居住環境向上のための改善措置との矛盾が課題となり、そこでは、オープンスペース、舗装、ストリート・ファーニチャー、照明設備において歴史的文脈との調和や環境改善の誘発が試みられており、歴史的景観を保全しながら、近代的な生活環境が作られていることが分かった。

③ナポリ

ナポリではURBAN1において二地区が開発対象となった。 ナポリ市はスパニョーリ地区に明るい照明をつけ、文化的価値 ある建物をホテルに再生するなどの取り組みを行ってきた。ナ ポリは、異なる国の支配を受け、市民が政府よりもマフィアに よる保護を頼った歴史もあり、マフィアの勢力が現代も残って いる。最近ではマフィアにゴミ産業が支配され、焼却所が無く 回収も行われないため街中にゴミがたくさんあった。EUの支 援は、このような政府の管理が行き届いていないナポリ市の中 の最貧地区にも目が向けられているということが分かった。ナ ポリの市当局がゴミ問題を解決し、生活環境を改善することが 第一だが、EUの支援が入ることで開発が進んでほしいと思う。

④ブリュッセル

ブリュッセルでは、ラ・シャペル駅の周辺地区は移民や若年 失業者が多く疲弊地区となっていた地区を視察した。鉄道駅 としての機能が低下した旧駅舎を改築してアートセンターとし、 ワークショップ、カフェなど若いアーティストの活動拠点に再生 させた。レシクラー(リサイクルアート)と名付けられた事業で、 失業中の若いアーティストらが廃品を利用した作品や工芸品を 作り販売することを通して彼らの自立を促す試みを行った。ラ・ シャペル駅の周辺地区はやや薄暗い通りではあったものの、き れいに整備されていた。様々な人種の人が集まっており、人種 ごとに集まって地区を形成しているために、貧しい人が多い地 区は活気が無く治安が悪いのだとわかった。若い芸術家の力 で芸術の面から街を活性化するという手法は、古い歴史を守 ることに力を注ぐイタリアとは反対だが、文化の保護に力を入 れるという点で共通していると感じた。

Scholarship & Internship Programme

Scholarship

During the third year, the *EUIJ-Kansai* continued Scholarship and Internship Programme, and awarded scholarship to 9 students, 2 undergraduates, 2 MA students, 5 postdoctoral/Ph.D. students. The purpose of Scholarship is to support research trip of talented individuals in any field of the EU studies including humanities and science & technology, in order to contribute advancing it in Japan. As for Internship Programme is awarded as incentive to gain work experiences at the E.E.S.C. (European Economics and Social Committee), other EU Institutions or organisation, Untortunately there was no applicants for the Inlernship in the third year.

Reports from students

Report of study trip (Summary) Ikuko SHIMADA, Faculty of Economics, Kobe University

The study trip to observe urban redevelopment policies and strategies in several countries began in Italy. I visited various cities and gained an appreciation of their differing characteristics, and also of the way the people live their lives. I travelled from Italy to Belgium, the Netherlands, France and Germany.

1. Florence

Florence's status as a city of arts and culture is demonstrated by its dedication to preserving the culture of the city as a whole, not just music and the arts. For instance, building heights and wall and window colour schemes are all carefully coordinated.

Evidence of the old way of life can be found all around Florence, such as rings for tethering horses and small windows for dispensing wine. Since the city was laid out at a time before vehicles, many of the roads are too narrow for cars, and motorbikes are the preferred form of transport for many

By spending some time in Florence, I could see how the city represents a successful fusion of traditional culture and modern lifestyles. Surely its popularity as a global tourist destination is testimony to the fact that it is both an important cultural asset and a place where people live and work in the midst of history.

2. Geno

The redevelopment is a combined public and private sector project predicated on a new public service delivery style designed to fulfil the local need for economic revitalisation. The first URBAN programme, "Programme for Urban Regeneration and Sustainable Territory Development", was designed to celebrate and accentuate links with history. URBAN II was designed to address the problem of deprived urban areas, characterized by high unemployment, a degraded residential environment, deteriorating urban amenities and public services, and serious issues such as crime.

My visit took me to the second round regeneration in the centro storico (historical centre) of Genoa. This is one of the densest centro storico regions in all of Europe, a curious mix of medieval public apartments, elegant buildings owned by descendants of nobility and crude residential structures put

up during the Second World War. When Genoa was at the peak of its prosperity, residential and commercial activity shifted away from the old centre and out to the periphery and the suburbs. The historical centre was no longer the geographical and administrative centre of the city, and it quickly fell into decline. As the wealthy middle and upper classes moved out of the centre, the centro storico was left to the poor and working classes.

The municipal authorities decided to implement projects in the two adjacent regions as a means of revitalising the Pre district. It was important to preserve buildings of historical value yet at the same time enhance the general environment for residents, and this has been successfully achieved through the use of open spaces, paving, street furniture and lighting fixtures designed to improve urban amenity without compromising the historical feel of the area. In this way, the authorities have managed to create a modern urban environment that preserves the historical aesthetic of the

3. Naples

The URBAN I project at Naples involves redevelopment in two areas, Quartieri Spagnoli district and Rione Sanità district. In Quartieri Spagnoli, the city authorities have installed bright street lights and converted culturally significant buildings into hotels and other facilities. One can imagine the type of place, even without going there. It is easy to see why the EU has identified the need to provide support to poorer areas of Naples that are not being properly managed by their own government. The first priority should be for local authorities to resolve the garbage problem and improve the environment for residents. At the same time, financial support from the EU is required in order to promote much-needed development.

4. Brussels

In Brussels I saw the impoverished La Chapelle station district, which is characterised by high numbers of immigrants and unemployed youth. The old station building, no longer used by the railways, has been converted into an art centre and work space for young artists, complete with workshops and cafes. At the centre, young unemployed artists create and sell artworks and handicrafts from used objects (known as Recyclart or recycled art), thus achieving a degree of autonomy through financial independence.

The streets around La Chapelle station were somewhat dim but clean and in good order. There are people of many different races in the district, and people tend to congregate within their group in specific areas. The area where poor people congregate is relatively lifeless with poor public security. The arts centre initiative, which seeks to revitalize the area through the arts using the vitality of young

⑤アムステルダム

アムステルダムは、運河に沿って古くからある建物が並んでおり、歴史と現代がうまく調和した都市であると感じた。再開発では、都心に近い公園の東側は歴史的な都市公園として残し、中央部の景観をスポーツや産業に利用していた。また、西側を自然との調和を図るゾーンとし、中心軸がこれら全ての施設をつなぐ回廊となるというように構成されていた。グローバリゼーションがもたらす都市・地域の衰退や危機からの脱出策として取り組まれる「文化と創造性による都市再生事業」の事例であり、先進性を感じた。

⑥ミュンヘン

ミュンヘンでは中央駅周辺の再開発を視察した。ミュンヘン市のアルヌルフパーク地区はドイツ国有鉄道の民営化に伴い、再開発が進められた。開発戦略は、「コンパクト、グリーン、アーバン」である。コンパクトとは、密集した敷地の中から、不必要な用地を取り上げ、資材を有効に使った密度の高い開発を行うという意味である。オープンスペースの魅力的な整備と植物による自然との調和が保たれており、レクリエーション空間が整備されていた。ミュンヘンの歩行者ゾーンでは、昼間は車や自転車は全く走行できず、夜10時から朝10時までに限って商店街の商業交通のために開放していた。最も大きな歩行者ゾーンである「カールス広場」から「マリエン広場」までの「カ

ウフィンガー通り」では、地下にSバーン(郊外電車)を走らせることによって、従来の車や人の往来をどう処理するかという課題を解決した。中心市街地は、コンパクトシティとして、歩いて暮らせるまちづくりが目指されているのが分かった。

おわりに

今回6つの都市を訪れ、各都市が魅力あるサステイナブル な都市になるためにどのような取り組みが行われたのかを視察 することができた。とりわけ大きな印象を感じたのは、イタリ アでは歴史的建造物の保護と快適な近代的生活の共存をいか に両立するかが課題であることが多いのに対し、他の都市では 疲弊地区を現代芸術によって活性化させようとしていたことで ある。EUとして統合されたことでヨーロッパ域内の人々の移動 が活発になり、都市間の競争も激しくなったのではないかと推 測する。先進地域では、環境との調和に配慮した住みやすい 都市になるために競いあうように開発に取り組まれていた。一 方、EUの都市政策によって国家の中では支援が回らなかった 地域にも開発援助が行われ、地域間格差の是正に力が入れら れているということが分かった。実際に足を運んで見たことで、 その土地の雰囲気や文化を感じることができた。研究調査旅 行の実施のために助成していただき、このような長期間に渡る 調査を行えたことに深く感謝している。

ロマ問題に関するヨーロッパ研究 調査旅行の報告 (抜粋)

神戸大学大学院国際協力研究科博士課程前期 大谷 一夫

I. 研究調査旅行の内容

今回の研究調査旅行でベルギー、フランス、ルーマニ アでの活動について紹介したい。

- 1.欧州評議会でロマ問題を担当する高官へのインタビュー
- 2.5つのNGO— European Network Against Racism (ENAR)、Amnesty International France、Forum of Roma Young People、European Roma Information Office、Romani CRISS (英語名Romani Center for Social Intervention and Studies) のロマ問題専門家へのインタビュー
- 3.2011年9月22日 に 開 催 さ れ た 会 合、Summit of Mayors on Roma (ロマ問題に関する市長サミット) への参加
- 4.ブリュッセルにある欧州委員会中央図書館でEUのさまざまな組織が発行している貴重な資料のうち、30以上を閲覧し、コピー作成
- 5.ブリュッセルで、ロマ問題に関するアンケート調査 6.ルーマニア国内で、ロマの人達が他から隔離されて暮ら す地域を訪問

|| 研究調査旅行の成果

調査旅行に先立って、期待した成果は以下である。

- 1.ヨーロッパに居住するロマ人達の現状や彼らが直面する 喫緊の課題の理解出来る。
- 2.ロマ人の抱える問題に対するEU、EU加盟国、NGOとロマ人の認識の差を明らかに出来る。
- 3.EUの戦略、例えば2010年に欧州委員会が履行した「2020年迄のロマ国内統合戦略に関する新たな枠組み」が、加盟国レベルおよび地域レベルでどの程度実施されているかを明らかに出来る。
- 4.市民組織との認識の差を解消し、ヨーロッパにおけるロマの更なる統合に寄与する上で、EUおよび加盟国が行うべき取組や政策を明確に出来る。

Ⅲ. 研究調査旅行の結果

1.ヨーロッパにとって緊急の政治課題であるロマ問題 インタビュー、フィールドワークを通して、ロマの人達の 現状に至る経緯を理解することができた。同時に、ロマ

現状に至る経緯を理解することができた。同時に、ロマの人達をめぐる諸問題が、ヨーロッパ全体にとって極めて深刻な問題の一つであることを確認した。

欧州評議会は、ヨーロッパにおける人権問題に取り組む公的機関の中心的存在である。2008年以降、イタリアとフランスで起こったロマの人たちの強制送還という深刻な事態をきっかけに、欧州評議会は、ロマ問題担当の

artists, stands in contrast to the approach in Italy, which is predicated on preserving the historical significance of the area; however, both approaches share a common goal of preservation of culture.

5. Amsterdam

Amsterdam struck me as a modern functioning city that has successfully retained its historical heritage. The redevelopment project has retained the eastern side of the park near the city centre as a traditional urban landscaped garden, using the scenery of the centre part for sport and industry. The western side features co-existence with nature, while the centre axis is a corridor linking all of the facilities together. The project is an excellent example of urban redevelopment using culture and innovation to break the cycle of deterioration and decline in cities and regions caused by the forces of globalisation.

6 Munich

Finally, I visited Munich to see the redevelopment of the area around the central station. The Arnulfpark district was redeveloped in conjunction with the privatization of the German national railways, under the development strategy of "compact, green and urban." Here, "compact" refers to the process of identifying unused land within a densely packed site area and making effective use of materials for high-density development. The precinct features recreation spaces that make good of open space with carefully coordinated planting and landscaping, as well as houses, offices, shops and leisure facilities. All in all it is a wonderful urban environment.

Cars and bicycles are forbidden to enter pedestrian zones

in Munich during the day. Only commercial vehicles are permitted in pedestrian zones between the hours of ten o'clock at night and ten o'clock in the morning. There is an S-Bahn (subway) beneath the main thoroughfare Kaufingerstrasse, which runs from Munich's largest pedestrian zone Karlsplatz through to Marienplatz. The S-Bahn has proven a suitable replacement for the vehicle and pedestrian traffic that used to run on Kaufingerstrasse. The centre of Munich is indeed a compact city designed along the principles of being able to walk everywhere.

Conclusions

I visited six cities and observed different initiatives being used to create attractive and sustainable urban environments. I was particularly struck by the contrast between Italy, where the need to balance the preservation of historical buildings with the demands of modern lifestyles has created many issues, and other countries, where modern artistic endeavours are being used to reinvigorate urban areas in decline. It would appear that the creation of the EU has facilitated movement throughout Europe and generated increasing competition between cities, with the more advanced countries trying to outdo one another in transforming their cities into pleasant and environmentalfriendly residential spaces. EU urban policy is providing financial support for development in regions that previously would not have received state funding, in a bid to address regional disparities. By visiting these cities, I was able to experience the culture and overall feel first-hand.

Finally, I would like to express my gratitude for the generous funding I received for this study trip, which enabled me to spend an extended period of time on research.

A Report of the Research Trip on Roma Issues (Summary) Kazuo OHTANI.

Graduate School of International Cooperation Studies, Kobe University

I. The Contents of Research Activities

To briefly highlight my research trip, firstly in this part, I will explain my actual engagement in various research activities in Belgium. France and Romania.

- interviews with executives of the Council of Europe who works on Roma issues
- interviews with experts of 5 NGOs: European Network Against Racism (ENAR), Amnesty International France, Forum of Roma Young People, European Roma Information Office and Romani Crisis
- participate in the conference titled "Summit of Mayors on Roma" on 22 September 2011
- visit EU Central Library in Brussels, gained an access to precious documents published by EU institutions, and read and copied over 30 articles of them
- 5. questionnaire survey about the issues of the Roma in Brussels
- 6. visit segregated camps of the Roma in Romania
- II. The Outcomes and Findings of the Research Travel In the research proposal, I listed expected research outcomes as follows:
- properly understanding immanent problems or current situation surrounding the Roma people in Europe
- 2. clarifying the recognition gaps concerning the issues of

- the Roma among the officials of the EU institutions and the Member States, NGO staff, and the Roma people
- clarifying how the strategies of the EU, such as the "New Framework for National Roma Integration Strategies up to 2020" implemented by the Commission in 2010, operate in the Member States and local levels.
- 4. acknowledging future attempts or policies to be taken by the EU and the Member States in order to bridge the recognition gap with civil society as well as to contribute for further integration of the Roma in Europe.

III. Results of research trip

1. Roma Issues as Recent High Political Agenda in Europe In terms of the first point, I succeeded in interpreting the dynamics of the situation faced by Roma people through reading books, conducting interviews and directly looking by my eyes in the fieldwork, and then confirmed that, as assumed beforehand, Roma issues has been one of the crucial issues across Europe. It is widely known that the Council of Europe is a leading official organisation working for human rights issues including Roma issues in the realm of Europe. After experiencing the recent crucial events of repatriation of the Roma people in France and Italy since 2008, the organisation established a Special Representative of the Secretary General for Roma Issues. By conducting interviews with the officials of the support team of the newly established body, I succeeded in acquiring the overview of the contemporary predicament of the Roma people. Ms. Eleni Tsetsekou, who is an administrator of the team, explained the miserable history of the ethnic group of Roma who have never been integrated into society over the centuries. She

教育・研究活動 Academic & Research Activities |

事務局長特別代表を指名した。

私は、特別代表を支援するチームのメンバーにインタ ビューを行い、ロマの人達の悲惨な現状を把握した。行 政官Eleni Tsetsekou氏は、ロマ民族の悲惨な歴史を 語り、「ロマは犯罪者ばかりだ」という認識が今も根強く、 「ブルガリア、マケドニア、ギリシャでは、警官が『薄汚 いロマ』と言いながらロマ人達に発砲します。チェコ共 和国、スロバキアやハンガリーでは、右翼がロマ人達が 住む街でパトロールを行ったため、それに怯えたロマの 人達は自宅から出られなくなったと語った、チーム責任 者であるMichael Guet氏とのインタビューでは、多くの ロマ人がコソボやセルビア等の政情不安の続く母国へ、 移住先から強制送還されてる事実を知らされた。また、 ロマ人が多数居住しているスロベニアやブルガリアでも 政治的発言が厳しく制限されており、ロマ人に不利な法 律も改正されないという。これらは欧州委員会中央図書 館での資料調査で確認することが出来た。

ルーマニアでロマ人の開放を目指すNGO「Romani CRISS」メンバーからの助言でカレア・ギウレスティ地域でロマ人達が外部から厳しく隔離された生活を余儀なくされているのを知る事が出来た。ロマ人達の悲惨な現状は、2011年9月22日にストラスブルグで開催された「Summit of Mayors on Roma」宣言から知る事が出来る。「我々は、ヨーロッパ全土の様々な場所で、今なおロマの人達が排斥され、差別されている事実を十分に認識し、その点について深く懸念する。この現実は、彼らが依然として社会から疎外され、教育、住居、医療、雇用へのアクセスが十分与えられていないことから明らかであり、偏見、不信感、そしてヘイト・スピーチによって助長されている。」

2.ロマ問題へのアプローチをめぐる、EUと市民組織の乖離「2020年までのロマ国内統合戦略に関する新たな枠組み」の実施によって、EUまたは欧州委員会がロマの支援プログラムを強化していることは広く知られている。然しながら、欧州委員会の姿勢を疑問視する意見や欧州委員会に対する批判が市民組織の側に根強く残っていることが明らかになった。ENARのメンバーは、ロマ開放の戦略をある程度評価しつつも、NGOの意見を聞かず、市民組織の提言が反映されていないので、実現可能性については疑問符が付くといい、ERTF事務局長は、「EUはロマをめぐる諸問題を、経済状況に関する問題としてのみ捉え、人種差別が彼らの経済的および社会的統合を阻む最大の障害になっている事実を無視している。」と云う。

3.問題の解決に向けて一地方自治体との協力

欧州評議会のEleni Tsetsekou氏は、各国政府がヨーロッパ全体の政策や文書に名目上は賛成しても、市長や地方自治体が激しく抵抗していると云う。Summit of Mayors on Romaは、EUと地方自治体との溝を埋めることによって、地域における意識の浸透を図る上で極めて画期的で重要な役割を果たした。「ロマ問題は最優先課題だ」という認識が、参加者全員の共有するところとなり、会議の最終決議に盛り込まれた。EUは、各国政府のみならず、地方自治体との連携を育み、市民組織の意見に真摯に耳を傾け、ロマをめぐる諸問題に諸問題に一層取り組む必要があると考える。

4.いくつかの問題点

EUが課題として挙げている「教育、雇用、医療、住居」のいずれもがロマ人達の経済的および文化的排斥という悪循環の解消にとって極めて重要である。EUは、ロマに関する戦略を成功させるためには民族に関するデータ収集が重要であると主張する。この問題点の解決には、地方自治体による積極的な取組が鍵を握ると思われる。データの不足により、対象となる人口の把握やEU主導のロマ開放プログラムの評価が難しくなっている。ロマと呼ばれる人たちの間で、同一性がない点にも問題がある。Swedish Romaは他地域のロマとは民族としての歴史やアイデンティティが全く違っており、区別せずに、同一の名称を使用し、同一の政策を実施することには問題がある。

IV. 最後に

今回の調査旅行で痛感したのは、フランス語が重要ということである。ブリュッセルの路上では殆ど英語が通じず、質問を投げかけても殆ど断られた。今後私がEU研究の一環として調査を続け、更に深めていきたいと考えているが、もっとフランス語が話せるように努力するつもりです。

もう一つは、準備不足である。事前の面会の約束取 得やフィールドワークを行うに当たっての重要な情報入 手が欠けていたことを反省します。EUインスティテュー ト関西の研究調査旅行助成プログラムとこの調査旅行に 当たって尽力して戴いたことに感謝すると共に、今回の 成果をもとに全力を尽くして質の高い論文を書き上げた いと考えます。

was deeply concerned that the recognition of "every Roma is criminal" is still rampant and prevailing through media and political discourse especially in East Europe. According to her, "In Bulgaria, Macedonia and Greece, police officers shoot the Roma people by saying 'You Dirty Roma'. And in the Czech Republic, Slovakia and Hungary, right wing parties organised patrols in villages where the Roma people live intimidating them not to go outside their houses". In the wake of the interview with her. Guet Michael, who serves a head of the team, gave me details of the facts that a large number of the Roma people have been coercively sent back to fragile countries such as Kosovo and Serbia from their migrated countries. He added by saying that their political representation has also been quite limited even in countries such as Slovenia and Bulgaria where their population occupiesa quite a large part, so the so-called Roma-unfriendly legislations cannot be reformed unless there is an external political pressure. I managed to academically connect these oral evidences with printed documents: surveying materials in the EU Central Library. In addition, based on suggestions from the staff of Romani Criss, a leading NGO working for the emancipation of the Roma in Romania. I visited a segregated area called "Calea Giulesti", in which many Roma are still forced to live under strict segregation. As a concise summary of the contemporary situation surrounding the Roma in Europe, I quote the comment of the contemporary predicament of the Roma in the declaration of the Summit of Mayors on Roma, which was a high-level conference held in Strasbourg on 22 September 2011 that I was permitted to attend: "We are fully aware and deeply concerned about the persistent exclusion and discrimination of Roma in local and regional communities across Europe, made evident by their continued marginalization and lack of access to education, housing, healthcare and employment and fuelled by prejudice, mistrust and even hate speech".

2. Discrepancy of Approaches to Roma Issues Between the EU and Civil Society; Although it is widely recognised that the EU, or the Commission, is strengthening its support programmes for the Roma by implementing a "New Framework for National Roma Integration Strategies up to 2020", it became clear from my research that dubious opinions or criticisms against the Commission are still raised by the civil society. While evaluating the strategy to a certain extent as a first official document for the emancipation of the Roma endorsed by the European Council, an interviewee of European Network Against Racism (ENAR) casted a doubt on it. She said that because the strategy was outlined without consultations with Europe based NGOs working on Roma issues, it did not reflect the suggestion from civil society and may be in merely repeating the failure of the past. Although the Commission mentioned about the measures of a large amount of effectively used fund and monitoring methods with clear benchmarking in the strategy report, it is apparent that concrete methods and processes are neither elaborated nor stipulated. Also. it is still controversial how the EU puts a pressure on each national government to implement programs in local levels without any stick and carrot measures. As a result, the feasibility of the strategy was explained as skeptical. In addition, the explicit four focuseseducation, employment, healthcare and housingmust be significant, the officer of ENAR mentioned a necessity of social approaches to ameliorate the situation facing the Roma people in Europe. In the newly established policy, the important questions like "how to combat the criminality of Roma prevailing in Europe" are still in nutshells. In line with these critiques, the secretariat officer of European Roma and Travellers

Forums (ERTF) also expressed the serious concern about the feasibility of the strategy and criticised the fact that as can be seen from the repeated logic of "economic integration" in the newly elaborated strategy, the EU still mistakenly reduces the issues of the Roma to their economic surroundings while dismissing the truth that deeply rooted racism is also the biggest barrier of the economic and social integration of the Roma.

- 3. A Way Forward: Cooperation with Regional Authorities Ms. Eleni Tsetsekou explained that there has been strong resistance by mayors or local authorities, even if national governments nominally agree with European policies or instruments. In light of this problem, the "Summit of Mayers on Roma" in which I participated was exceptionally innovative and meaningful to foster local implantation by bridging the gaps between the EU and local authorities. The recognition of "the Roma is top of the priority" was commonly shared by the participants and was stipulated in the final resolution of the conference. The EU has to address Roma issues much more sincerely, while seeking to foster a cooperation with not only national but also regional and local bodies and paying close attention to suggestions from civil society including the Council of Europe, with revised mechanism and sufficient funding, even in the current difficult situation in Europe where the flame of financial crisis is still lingering.
- 4. Limitations: The Lack of the Voice of the Roma All of four elements—education, health care, housing — on the EU agenda is vital in light of the vicious cycle of economic and cultural exclusion of the Roma people, it is also necessary to prioritise them and revise its fund allocation based on actual demands from the Roma. Another sensitive issue is concerning data collection. The EU strongly insists the ethnic data collection is vital to make its strategy for the Roma successful. To get over this limitation, the positive actions by regional and local authorities are regarded as a key. Much more essentially, Mr. Robert Rusterm points out the inconsistency of the identification among population called the Roma. As Swedish Roma contains a quite different ethnic history and identity, an attempt to apply the generalized ethnic name and then implement homogenous policy without the clear distinctions among them can be also problematic and still controversial.

III. Review and Reflection

One of the biggest realisations of this trip is that to understand speaking French is an important factor to make this kind of fieldwork successful, especially in Belgium and France. When I attempted to conduct questionnaire survey on the roads of Brussels, quite many people refused the cooperation on the ground that the language I was using was English. From now on I aim to continue and deepen my research in line with EU study, I decide to brush up my French skills and seemingly that will be a significant determinant of the outcomes of my next research trip by alleviating linguistic barriers. The other reflection is about my insufficient preparation. I should have known this kind of important information to do a fieldwork and should have started planning my research travel in a bitter-organised way at least 3 months before the research travel. As a final remark, I would like to convey my acknowledgement and appreciation for the EU Institute in Japan, Kansai, Without this brilliant programme for the support of a research trip, I am certain that I was not able to gain this kind of precious opportunities which has brought about a great progress on my research. I genuinely and sincerely appreciate their help and promise here to do my best to write a high-quality master thesis by developing the research outcomes and findings.

専門家招聘による集中講義

EUIJ関西では、EU関連分野への学生の理解を深めるためにEU加盟国から専門家を招聘して集中講義を行います。 第3年度では、3名の専門家を招聘しました、

A) 2011年8月6-15日

大阪大学

リンゼイ・ブラック博士 ライデン大学

"Conceptualising regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society"

B) 2011年9月5-14日

神戸大学

ヨアヒム・R・ダドゥーナ教授 ベルリン経済法科大学

"Advanced Transportation Planning and Operations in the European Union"

C) 2012年2月14-20日

大阪大学

ミルヤ・シュトルク博士 ハンブルグ大学

"Case Assessment and Care Planning in Eldercare in European/EU Context"

アジアのEUセンターとの共同研究

EUIJ関西は、学部生と大学院生のためにアジアのEUセンターとの共同研究の場を提供します。第3年度では、学部生・大学院生夫々のワークショップを行いました。

▶ 日韓の学部学生によるワークショップ ◀

EUIJ関西は、EU研究に対する興味を喚起するため韓国の 釜山国立大学と国内の学部学生によるワークショップを国内の 3EUIJの学部学生も招待して2012年1月7日に神戸大学で 開催しました。

EUIJ関西から26名、釜山国立大学16名、EUIJ早稲田5名、EUSI東京4名、EUIJ九州5名と9名の教授陣を交えて65名で、活発な議論が行われました。

各々の発表テーマ

EUIJ関西3グループ

「EU's Energy Policy towards Russia」、「The Effect of the EU-Japan EPA on Japan's International Competitiveness」、「Renewable Energy Policy in Japan – introducing the Aachen Model」

釜山国立大学3グループ

「An Empirical Analysis on the Determinants of Intra-Industry in Korea's Automobile Industry」「The UK - Just why is it so Eurosceptic?」「Regional Integration in East Asia:

A View from European Experience

EUIJ早稲田1グループ

The Flow of Human Resource and Economy

EUSI東京1グループ

 $^{
m \Gamma}$ Structural Reforms after the Euro Crisis $_{
m J}$

EUIJ九州1グループ

^rEconomic policies and EU Relations over the Introduction of the Euro ~ Cases of France, Germany, Italy and the United Kingdom after the Delors Report~J

▶ 日・韓・台の大学院生によるワークショップ ◀

EU研究に対する興味を喚起するため、韓国、台湾、日本の EUセンターに所属する大学院生によるワークショップが毎年 何れかの国で開催されます。

第3年度は2012年2月2-3日に韓国の延世大学で開催され、 EUIJ関西からは3名が参加し、活発な討議をしました。

3名の発表テーマ

堀 健介氏 神戸大学大学院法学研究科

「Economic Growth and FDI in Croatia」

ユスト・キャスティロ・イグレシアス氏 大阪大学大学院国際公共政策研究科

「Prospects for EU-Japan Security Cooperation in a Rapidly Changing Asia」

モニカ・オストロフスカ氏

大阪大学大学院国際公共政策研究科

^rThe European Union's Role in Global Climate Change Politics



Lecture by Incoming Visitors Programme

During the third year, under the Incoming Visitors Programme of leading researchers the *EUIJ-Kansai* offered lectures to foster a deeper understanding of the EU-related issues among students and young researchers through lectures, in framework of the Undergraduates and Graduates Certificates Programme on the EU studies, and invited three researchers from the EU Member States.

A) 6 - 15 August 2011

Osaka University

Dr. Lindsay Black, (Leiden University, Netherlands)

"Conceptualising regional order in East Asia - the EU as a Vanguard International Society"

B) 5 - 14 September 2011

Kobe University

Prof. Dr. Joachim R. Daduna, (Berlin School of Economics and Law)

"Advanced Transportation Planning and Operations in the European Union"

C) 14 – 20 February 2012

Osaka University

Dr. Mirja Storck, (Guest Lecturer, University of Hamburg)

"Case Assessment and Care Planning in Eldercare in European/EU Context"

Joint Research with the EU Centres in Asia

The *EUIJ-Kansai* organised joint research work for both undergraduate students and graduate students with the EU Centres in Asia during the third year.

► Japan - Korea Undergraduate Students Workshop <

The *EUIJ-Kansai* held the second workshop to stimulate students' interests in the EU affairs through debates between Pusan National University and Japanese students from *EUIJ-Kansai*, EUIJ-Waseda, EUSI Tokyo and EUIJ-Kyushu.

- 1) Date: 7 January 2012
- 2) Venue: Kobe University
- 3) Number of participants: 26 students from EUIJ-Kansai, 16 students from Pusan National University, 5 students from EUIJ-Waseda, 4 students from EUSI, 5 students from EUIJ-Kyushu, and 9 researchers
- 4) Topics:

EUIJ-Kansai:

"EU's Energy Policy towards Russia", "The Effect of the EU-Japan EPA on Japan's International Competitiveness" and "Renewable Energy Policy in Japan – introducing the Aachen Model"

Pusan National University:

"An Empirical Analysis on the Determinants of Intra-Industry in Korea's Automobile Industry" "The UK - Just why is it so Eurosceptic?", and "Regional Integration in East Asia: A View from European Experience"

EUIJ-Waseda:

"The Flow of Human Resource and Economy"
EUSI Tokyo: "Structural Reforms after the Euro Crisis"

EUIJ-Kyushu:

"Economic policies and EU Relations over the Introduction of the Euro ~ Cases of France, Germany, Italy and the United Kingdom after the Delors Report-"

► Japan, Korea and Taiwan Graduate Students Workshop <

This workshop was organised by the EU Centre of Pusan National University and 3 students from the *EUIJ-Kansai* participated in it. The purpose is to stimulate graduate students' interest in the EU affairs through debates by students of Korean EU Centres, Taiwanese EU Centre and 4 EUIJs.

- 1) Date: 2 3 February 2012
- 2) Venue: Pusan National University
- 3) participants from the EUIJ-Kansai and their topics:

Mr. Kensuke Hori, (Graduate School of International

(Graduate School of International Cooperation Studies, Kobe University) "Economic Growth and FDI in Croatia"

Mr. Just Castillo Iglesias, (Osaka School of International Public Policy, Osaka University)

"Prospects for EU-Japan Security Cooperation in a Rapidly Changing Asia"

Miss Monika Ostrowska,

(Osaka School of International Public Policy, Osaka University) "The European Union's Role in Global Climate Change Politics".



EUIJ関西ディベートクラブ

EUIJ関西は、学生にEU関連の最新のニュースに関心を持たせ、EU、EUの政策と文化的な多様性等について議論しながら、EUをより身近に感じることを目的とする活動としてEUディベートクラブを2011年4月から開始しました。参加者は、EU関連の重要なニュースの理解を深めながら、自らの視点を他の人に伝えることによって、参加学生が英語でのディベート技術を磨くことができ、自らの視点を他の人に伝えることを練習し、様々な視点からの議論の仕方を会得できる機会にもなります。ディベートクラブの参加学生はEUに関連する政治・経済テーマまたは社会・文化関連のテーマについて議論を行いました。テーマは、この活動の創始者であるエバ・バニンコバ准教授(神戸大学、EUIJ関西顧問)の助言を得て、学生達が決めます。全てのテーマについて「肯定派」と「否定派」の立場からディベートを展開するように選択されました。

1) 経済関連のテーマの事例:

- a) EUはユーロ圏崩壊を回避し、最終的に現在の危機を 克服できるか?
- b) EUは原子力使用を徐々に低下すべきなのか?
- c) EUは成長戦略「欧州2020」の目標を達成できるか?

2) 政治関連のテーマの事例:

a) EUは新規拡大を実現すべきなのか?



図書資料事業

■EUIJ関西ライブラリー

3大学で提供されるEU研究修了証プログラムに登録する学部学生および大学院生の学習・研究活動を援助するために、2005年9月26日から関西学院大学図書館(西宮上ケ原キャンパス)内に「EUIJ関西ライブラリー」を設置しています。EUIJ関西ライブラリーには、EU理解を促進するために役立つ幅広い主題の基本図書をはじめ、講義担当教員からの推薦図書などが配架されています。

■3大学図書館相互利用協定

EUIJ関西に加盟する神戸大学、関西学院大学および大阪大学の図書館は、EUIJ関西が実施する教育活動および研究活動に寄与するために、「EUIJ関西・大学図書館相互利用に関する協定書」を2005年9月22日には、この協定を2013年3月31日まで延長する覚書を締結しました。

この協定書により、2005年10月1日から、3大学間の単位互換によるEU研究修了証プログラムに登録する学部学生および大学院生と講義担当教員および共同研究者は3大学の図書館を利用することができます。



■欧州委員会代表部よりEU刊行物資料の受贈

EUの官報 (Official Journals)、年次報告書 (Annual Reports)、現行法令タイトル集 (Directories of Community Legislation)、統計書 (Eurostat Publications) などEU刊 行物約5千冊が欧州連合代表部より関西学院大学産業研究所へ2005年9月27日に寄贈されました。

利用についての問い合わせは、

同産業研究所 (TEL 0798-54-6127) まで。



EU Debate Student Club

The *EUIJ-Kansai* started this activity on 1 April 2011 to stimulate students' interest in the EU-related current news and to give them an opportunity to become more familiar with the EU, its policies and cultural diversity. At the same time this is also an opportunity for participating students to improve their English debating skills, express their views and practice how to see things critically and from several different angles. Students discuss political and economic issues as well as some socio-cultural topics. Students can choose a debate topic from several suggested ones provided by Associate Prof. Eva Banincova of Kobe University (Advisor of the *EUIJ-Kansai*) who organises this activity. All debate topics are devised in such way that they can be discussed from two standpoints, as "Yes" group and "No" group.

1) Economy-related topics:

- a) Will the EU eventually overcome the current crisis without any breakup of the Eurozone?
- b) Should the EU gradually move away from the use of nuclear energy?
- c) Do you think that the EU can achieve the ambitious objectives of its Europe 2020 Strategy?

2) Political themes:

a) Should there be a further enlargement of the EU?



Books and Library Project

■The *EUIJ-Kansai* Library

The *EUIJ-Kansai* Library was established on 26 September 2005 in the Kwansei Gakuin University Library (Nishinomiya - Uegahara Campus) to provide aid for study and research activities of undergraduate and graduate students enrolled in the Certificate Programmes in the EU Studies.

This library contains books recommended by professors in charge of lectures, and a wide variety of books on basic universal themes, which are useful in facilitating understanding of the EU.

■Library Inter-Availability Agreement between the Three Universities

To contribute toward the development of educational and research activities of the *EUIJ-Kansai*, libraries of the member universities concluded 'the *EUIJ-Kansai* / University Library Inter-Availability Agreement' on 22 September 2005. On



22 September 2008, extension of this agreement up to 31 March 2013 was signed.

It has enabled professors in charge of EU study courses, joint researchers, and students enrolled in the Certificate Programme in EU Studies to use all the three universities' libraries since 1 October 2005.

■Donation of the Collection of the EU Publications by the Delegation of the European Union

The Delegation of the European Union to Japan donated a collection of approximately 5,000 EU publications, including the EU Official Journals, Annual Reports, Directories of Community Legislation and Eurostat Publications, to Kwansei Gakuin University Institute for Industrial Research on 27 September 2005.

For details on use, please contact Kwansei Gakuin University Institute for Industrial Research (TEL: +81-(0) 798-54-6127).

30 教育・研究活動 Academic & Research Activities 31

アカデミック・セミナーシリーズ

第3年度では、EUIJ関西は日本に滞在中のEU研究者を招聘して、16回開催しました。

2011年	「欧州の動向〜企業のCSR政策、EUの地域政策〜」
5月18日	講師:ジルケ・ブスタマンテ教授 (ベルリン経済法科大学)フランシス・ローリンソン教授 (関西学院大学産業研究所)
2011年	「セルビアと旧ユーゴスラビア諸国の今日の経済状況と欧州連合への加盟について」
5月21日	講師:ドラガナ・ミトロヴィッチ教授 (ベオグラード大学)
2011年6月1日	「欧州統合と欧州議会〜平和と成長の50年、そして未来」 講師:エンリコ・ダンブロジオ氏 (欧州議会コミュニケーション総局)
2011年6月12日	「EUとフランスの競争政策」 講師:和田 聡子准教授 (大阪学院大学経済学部)
2011年	「英国と日本: 類似性と」
6月30日	講師: デイビッド・ウォーレン大使閣下(駐日英国大使館)
2011年	「欧州の新検出器開発と物理学への影響」
9月5日	講師:イオアニス・ジオマタリス氏 (フランスCEA/Saclay研究部長)
2011年	「E Uの環境条約戦略」
10月12日	講師:アレハンドロ・ラゴ・カンデイラ氏 (スペイン ファン・カルロス大学UNESCO講座長)
2011年	「ラトビアと日本の90年間の関係」
10月20日	講師:ペーテリス・ヴァイヴァルス大使閣下(駐日ラトビア共和国大使館)
2011年	「ドイツから見た3.11後の東アジア情勢」
10月28日	講師:フォルカー・シュタンツェル大使閣下(駐日ドイツ連邦共和国大使館)
2011年	"Debt Crisis in Eurozone and the EU Institutional Response"
11月9日	講師:イヴォ・スロサチック教授 (カレル大学)
2011年	"Explaining and Fighting the Current Crisis from a Neo-Shumpeterian Perspective"
11月18日	講師:ホルスト・オットー・ヤヌーシュ客員教授 (アウグスブルグ大学)
2011年	「E Uにおける企業課税の動向:共通統合法人課税標準を中心に」
11月24日	講師: バーティル・ウィマン教授 (ウプスラ大学)
2011年	「 EU統合とポーランドのEU大統領」
12月15日	講師:ラデク・ティシュキェヴィッチ氏(駐日ポーランド共和国大使館一等書記官)
2011年	「日本のEU報道の表と裏」
12月22日	講師:太田 泰彦 (日本経済新聞社論説委員)
2012年	「ジャーナリズム再構築―"学びのカーブ"を共有しよう」 講師: ヨリス・ライエンダイク氏 (ガーディアン紙記者、英国)
2012年	「ドイツの法律教育」
2月23日	講師:ミルヤ・シュトルク博士 (ハンンブルグ大学)
2012年	「 欧州のソブリン危機とユーロの将来」
3月5日	講師:ピーター・ベックス氏 (欧州委員会、経済金融総局、国際経済。金融・グローバルガバナンス部長)
2012年	「金融下のユーロ・エリヤー金融機関とドル」



Academic Seminar Series

The *EUIJ-Kansai* held 16 seminars during the third year for researchers and students in a very cost-effective way by inviting European experts who were staying in Japan.

18 May. 2011	European Trends: 2 Reports on the CSR Policy of Companies and Regional Development Prof. Francis Rawlinson, Kwansei Gakuin University and Prof. Silke Bustamante, Berlin School of Economics and Law
21 May. 2011	"Todays's Economic Situations of Serbia and Other Former Yugoslav States - Their Accession to the EU" Prof. Dragana Mitorovic, Faculty of Political Science, University of Belgrade
1 Jun. 2011	"The European Parliament in a United Europe: 50 Years of Peace and Growth" Mr. Enrico D'ambrogio, Administrator, Audiovisual Unit, Directorate-General For Communication, the European Parliament
12 Jun. 2011	"Competition Policy in France and the EU" Associate Prof. Satoko Wada, Osaka Gakuin University
30 Jun. 2011	"Great Britain and Japan - Similarities and Differences" H.E. Mr. David Warren, British Ambassador to Japan
5 Sep. 2011	"New Detector Developments in Europe and Their Impacts to Physics" Dr. loannis Giomataris, Research Director, CEA/Saclay, France
12 Oct. 2011	"EU's Strategy towards Multilateral Environmental Treaties" Mr. Alejandro Lago Candeira, Director, UNESCO chair, Universidad Ray Juan Carlos, Spain
20 Oct. 2011	"90 Years of Latvia-Japan Relations" H.E. Mr. Peteris Vaivars, Ambassador of the Republic of Latvia in Japan
28 Oct. 2011	"Situation in East Asia after the Tohoku Earthquake from German Point of View" H.E. Dr. Volker Stanzel, Ambassador of Federal Republic of Germany in Japan
9 Nov. 2011	"Debt Crisis in Eurozone and the EU Institutional Response" Prof. Ivo Slosarcik, Charles University, Prague
18 Nov. 2011	"Explaining and Fighting the Current Crisis from a Neo-Schumpeterian Perspective" Honorary Prof. Horst Otto Hanusch, Augsburg University
24 Nov. 2011	"The Common Consolidated Corporate tax Base - CCCTB" Prof. Bertil Wiman, Uppsala University
15 Dec. 2011	"EU Integration on the Polish Presidency" Mr. Radek Tyszkiewicz, First Counsellor, Embassy of Republic of Poland in Japan
22 Dec. 2011	"Japanese Media's Role to Construct the EU-Japan Relation" Mr. Tasuhiko Ohta, Senior Writer, NIKKEI INC.
19 Jan. 2012	"Let's Reinvent Jounalism: Share Your Learning Curve" Mr. Joris Luyendijk, Senior Writer, The Guardian, U.K.
23 Feb. 2012	"Legal Education in Germany" Assistant Prof. Mirja Storck, Hamburg University
5 Mar. 2012	"The European Sovereign Debt Crisis and the Future of the Euro" Mr. Peter Bekx, Director of International Economic and Financial Relations, Global Governance, DG ECFIN, the European Commission
28 Mar. 2012	"Euro Area during Financial Crisis - Financial Institutions and U.S. Dollar" Prof. Kenji Iwata, Graduate School of Economics, Kyushu University





32 | 教育・研究活動 Academic & Research Activities | 33

EU研究者による研究グループ活動

第2期初年度にコンソーシアム3大学、EUIJ関西の協定校である京都大学経済研究所、関西大学を主体とするEU研究者で法政治学、経済学、経営学の三つの研究グループを組成し、夫々の活動を開始しました。各グループにはそれ以外の研究機関の研究者も含まれています。

研究目的のためのワークショップ

EU研究者や学生達のEU研究に対する興味を喚起するために、研究目的のためのワークショップを年2~3回開催します。第3年度では、3回開催しました。

2011年10月5日 関西学院大学

「EUの地域開発政策」

■報告者とテーマ

ロニー・ホール氏 欧州委員会 地域開発総局長

「European Regional Policy - Aims, Methods, Results and Reform」

ジアン・パオロ・マンツェラ氏 イタリアローマ州欧州局長

^rThe Mechanisms through which EU Regional Policy Influences National Legal Orders

石田 正美氏 日本貿易振興機構(JETRO)バンコク研究センター研究員

^rThe Contribution of Foreign Direct Investment to Economic Development, the ASEAN Experience from the Recipient and Investing Countries' viewpoint_J

山下 永子氏 (財)福岡アジア都市研究所専門研究員

「Regional Development in Japan via Alliances of Regional Administrations」

佐無田 光准教授 金澤大学人間社会学域

「Japanese Regional Policy, History and Current Status」

2011年12月17日 神戸大学

「グローバル化と金融危機にゆれる中東欧経済」

■報告者とテーマ

ファルカス・ベアタ教授 セゲド大学経済学部 (ハンガリー)

^rThe Central and Eastern European Model of Capitalism and its Performance during the Current Crisis」

マレク・ドンブロフスキー博士 ポーランド社会経済研究センター上級研究員、元財務省 第一次官「European Economy: Struggling with the Second Wave of Financial and Debt Crisis」





2012年3月10日 神戸大学

「日・EU経済連携協定の可能性」

■報告のテーマ

セッション 1「Why a Japan-EU EPA?: Background and Conceptions」

セッション 2「Mutual Recognition / Free Movement of Workers (Experts)」

セッション 3 「Chapter on Investment: Whom to Negotiate With?」

セッション 4「How Will This Huge EPA Fit into the WTO Regime (or Not)?」

セッション 5「The EU-Japan Relations in a Wider Context」

※非公開で開催されましたので、詳細の報告はありません。



Research Groups

The *EUIJ-Kansai* organised three research groups and started their activities from the first year to attract many researchers to the EU-related studies. Most of these researchers belong to three universities of the consortium, Kyoto University and Kansai University with which the *EUIJ-Kansai* made cooperation agreements. Furthermore, some outside researchers are also invited to the research groups.

- A) Law and Politics Group
- **B)** Economics Group
- C) Business Administration Group

Academic Workshops

The *EUIJ-Kansai* organised three Academic Workshops during the third year to stimulate interest of researchers and students.

"EU's Regional Development Policy – is it relevant for Japan and Asia?" at Kwansei Gakuin University on 5 October 2011

Speakers and their topics:

Dr. Ronny Hall, Director, Directorate General for Regional Policy, European Commission "European Regional Policy – Aims, Methods, Results and Reform"

Mr. Gian Paolo Manzella, Director Innovation, Enterprise and European Affairs, Administrator, European Investment Bank, Luxembourg

"The Mechanisms through which EU Regional Policy Influences National Legal Orders"

Dr. Masami Ishida, Senior Research Fellow, Institute for Developing Economies, JDE-JETRO Bangkok Research Centre, Thailand

"The Contribution of Foreign Direct Investment to Economic Development, the ASEAN Experience from the Recipient and Investing Countries' viewpoint"

Dr. Eiko Yamashita, Senior Research Specialist, Fukuoka Asian Urban Research Centre "Regional Development in Japan via Alliances of Regional Administrations"

Dr. Hikaru Samuta, Associate Prof., Dept. of Human Sociology and Local Economy, Kanazawa University

"Japanese Regional Policy, History and Current Status"

"The Central and Eastern European Economy in Turmoil: Effects of Globalisation and Financial Crisis"

- at Kobe University on 17 December 2011
- Speakers and their topics:

Prof. Beata Farkas, the Faculty of Economics and Business Administration, Szeged University "The Central and Eastern European Model of Capitalism and its Performance during the Current Crisis"

Dr. Marek Dabrowski, Vice Director of the Centre for Social and Economic Research (CASE) "European Economy: Struggling with the Second Wave of Financial and Debt Crisis"

"Toward a Japan-EU EPA"

at Kobe University on 10 March 2012

■Topics of each session

Session 1 "Why a Japan-EU EPA?: Background and Conceptions"

Session 2 "Mutual Recognition / Free Movement of Workers (Experts)"

Session 3 "Chapter on Investment: Whom to Negotiate With?"

Session 4 "How Will This Huge EPA Fit into the WTO Regime (or Not)?"

Session 5 "The EU-Japan Relations in a Wider Context"

*This workshop was held under Chatham House Rule, therefore the speakers' identity may not be revealed.

34 教育・研究活動 Academic & Research Activities 35

欧州経済社会評議会(EESC)との学術会議

EUIJ関西はEUの機関の一つである欧州経済社会評議会と年2回(夫々の場所で1回ずつ)定期的に学術会議を実施します。 会議の目的は、意見交換をし、相互の経験等について議論を展開しながら、相互理解を強めることです。第3年度では、2011年 11月26日と2012年3月7日に実施しました。

2011年11月26日 関西学院大学

「東日本大震災と福島第一原発事故―IEUと日本のエネルギー政策への影響―」

■報告者とテーマ

第1セッション ラウラ・バトゥート 欧州経済社会評議会

「福島第一原発事故後のEUにおけるエネルギー政策:労働組合側からの視点から」

中瀬 哲史教授 大阪市立大学

「日本の電力供給システムと福島第一原発事故」

第2セッション イヴ・パーレンドソン 欧州経済社会評議会雇用者グループ副会長

「福島第一原発事故後のEUにおけるエネルギー政策:経営者側の視点から」

野村 宗訓教授 関西学院大学産業研究所長

「東日本大震災後の電力政策」

第3セッション クリシュトフ・ペーター 欧州経済社会評議会多様な事業体グループ

「災害の備えと救援協力"ボランティア・チームの中心的役割" (ポーランドモデル)」

関 嘉寛准教授 関西学院大学

「東日本大震災におけるボランティア・NPO」

第4セッション サンディ・ボイル 欧州経済社会評議会

「日本-EU関係における市民社会の役割」

2012年3月15日 欧州経済社会評議会(EESC)

「人口高齢化とヨーロッパ及び日本における新しいビジネス機会」

■報告者とテーマ

パネル] 「人口高齢化と経済的な競争力」

吉井 昌彦教授 神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西代表「日本の失われた20年による日本人口高齢化への影響」

ファブリス・ロリヨン氏 AXA ブリュッセル事務所

「日本とヨーロッパにおける人口高齢化の課題:保険業の視点からの考察」

西村 智准教授 関西学院大学経済学部

「希望出生率と実際出生率との格差の要因とは?:4つの先進国の比較研究」

パネル2 「高齢化と雇用」

三谷 直紀教授 神戸大学大学院経済学研究科 「高齢労働者への雇用政策と労働需要」

関根 由紀准教授 神戸大学大学院法学研究科 「日本の高齢労働力の管理:法的側面」

アリ・ヴォス氏 Intercultural Guidance共同創設者 「高齢労働力:日本・西欧の経営方式と意識の比較」

レベカ・スミス氏 BUSINESSEUROPE「世代間の連帯感?」

ジャスパー・ヴァンロー氏 CEDEFOP

「将来の人口の変化と要求されるスキルに対するアクティブエージングの対応とは?」

ロール・バトゥ氏 欧州経済社会評議会「ヨーロッパのデジタル化:高齢化社会の包括」

小原 美紀准教授 大阪大学大学院国際公共政策研究科 「健康と職場環境」

サラ・デキッシュ氏 CSR Europe 「アクティブエージングに対するビジネスからの貢献」

パネル3 「高齢化とイノベーション」

アラン・ヴェラ 欧州委員会企業・産業総局「高齢観光客による欧州経済への機会」

イラリア・サヴォイニ氏 Euro Commerce社会局 「労働力に高齢者を確保する必要と企業にとっての有利性」



Academic Conference with E.E.S.C.

The *EUIJ-Kansai* organised two Academic Conferences with E.E.S.C. during the third year, whose objectives were to strengthen mutual understandings by exchange of ideas and learning from each other

First Conference at the EUIJ-Kansai (Kwansei Gakuin University) on 26 November 2011

"Impact of the Tohoku Earthquake and the Accident at the Fukushima-Daiichi Nuclear Power Plant on Energy Policies in the EU and Japan"

Speakers and their topics:

Session 1 Mrs. Laure Batut, E.E.S.C.

"Energy Policy in the EU in post-Fukushima period from the trade union perspective"

Prof. Akifumi Nakase, Osaka City University

"The Japan's Electric Power Supply System and the Fukushima Daiichi Nuclear Plant Accident"

Session 2 Mrs. Eve Päärendson, E.E.S.C.

"Energy Policy in the EU in Post-Fukushima Period from the Business Point of View"

Prof. Munenori Nomura, Institute for Industrial Research, Kwansei Gakuin University

"Electricity Policy after the Tohoku Earthquake"

Session 3 Mr. Krzysztof Pater, E.E.S.C.

"Disaster Preparedness and Relief Cooperation - the Key Role of Volunteers' Teams (on basis of the Polish Model)

Associate Prof. Yoshihiro Seki, Kwansei Gakuin University

"Civic Activities in the Tohoku Earthquake"

Session 4 Mr. Sandy Boyle, E.E.S.C.

"The Role of Civil Society in the EU-Japan Relations"

Second Conference at E.E.S.C. on 15 March 2012

"Ageing Populations and New Opportunities for Business in Europe and Japan"

Speakers and their topics:

Panel 1 "Ageing Populations and Economic Competitiveness"

Prof. Masahiko Yoshii, Graduate School of Economics, Kobe University and President of the *EUIJ-Kansai* "Japanese Lost two decades and their effect on the Japanese ageing society"

Mr. Fabrice Lorillon, AXA Brussels Office

"The Challenges of Ageing in Japan and Europe from the Perspective of the Insurance Sector"

Associate Prof. Tomo Nishimura, Kwansei Gakuin University

"What are the Factors of Gap between Desired and Actual Fertility? - A Comparative Study of Four Developed Countries"

Panel 2 "Ageing and Employment"

Prof. Naoki Mitani, Kobe University

"Employment Policies for Older Workers and Labour Demand"

Associate Prof. Yuki Sekine, Kobe University

"Managing Japan's Ageing Workforce: Legal Aspects"

Mr. Arie Vos, Co-founder of Intercultural Guidance

"Ageing Workforce: Comparison of Japanese and Western (European) Management Styles and Attitudes"

Ms. Rebekah Smith, BUSINESSEUROPE

"Solidarity between Generations?"

Mr. Jasper van Loo, CEDEFOP

"How Active Ageing can Address Future Demographic Trends and Upcoming Skill Needs?"

Ms. Laure Batut, E.E.S.C.

"Digital Europe: Inclusion of Ageing Population"

Associate Prof. Miki Kohara, Osaka University

"Health and Work Environment"

Ms. Sarah Dekkiche, CSR Europe
"The Business Contribution to Active Ageing"

Panel 3 "Ageing and Innovation"

Mr. Allan Vella, DG Enterprise and Industry Company "Opportunities for the European Economy from Ageing Tourists"

Ms. Ilaria Savoini, Social Affairs, EuroCommerce

"Companies benefitting from the need to keep elderly people in their workforce"

EUをより良く知って戴くために、EUIJ関西は第3年度もアウトリーチ活動に注力しました。

一般への活動

兵庫県阪神シニアカレッジ

エバ・バニンコバ神戸大学准教授(EUIJ関西顧問)は2011年4月20日に宝塚市、5月27日に尼崎市の一般の方々夫々45名に世界の中で重要性が増しているEU関連の講義を実施しました。テーマは「中東欧諸国のEU加盟」で、中東欧諸国のEU加盟とその経済的影響について説明しました。



神戸シルバー・カレッジ

吉井昌彦神戸大学大学院経済学研究科教授(EUIJ関西代表)は2011年4月27日に神戸市の一般の方々65名にEUの発展についての「東欧諸国の市場経済化と加速」の講義を実施しました。吉井教授は、中東欧諸国において市場経済移行によって何が持たされるか、更にEU加盟によって何が変わり、どんな課題が残されているのかを概説しました。

公開講座

神戸大学大学院経済学研究科の協力を得て、EUIJ関西教授陣による公開講座を開催し、232名の一般の方へEUの経済や社会に関する諸々のテーマの講座を開催しました。

- 1)期間:2011年6月18日~7月9日
- 2) 場 所:神戸大学大学院経済学研究科
- 3) 講座のテーマ:

「グローバル金融危機に揺れるEU経済」

4) 講座の詳細:

久保 広正教授

「危機を脱するか、EU経済」

岩壺 健太郎准教授

「ユーロと金融危機」

丸山 佐和子准教授

「スウェーデン社会を支える産業構造」

匊而 孝至教授

「多様性の中のEU統合:ベルギーを例として」

エバ・バニンコバ准教授

「新規EU加盟国の中東欧諸国・バルト3国」

吉井 昌彦教授

「南東欧諸国のEU加盟」

高校生への活動

オープンキャンパス

神戸大学で開催された高校生対象のオープンキャンパスで、EUの写真、ポスターの展示、神戸大学の教授による講義を開催しました。参加した高校生約250名の大半がEUに対する興味を大いに深めました。

1)日 時:2011年8月10日 2)場 所:神戸大学



特別講義

来日中のEUの専門家にお願いして、EUの環境政策をテーマとするセミナーを250名の生徒向けに開催しました。

- 1) 日 時:2011年7月12日
- 2)場 所:コスモスクエア国際交流センター
- 3)講師:吉井昌彦教授
- (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西代表)
 4) 内 容:「EUは世界を変えることが出来るか?:経済統合、 危機そして次は?」と題して、「EUとは?」「EUの世界戦略:

危機そして次は?」と題して、「EUとは?」「EUの世界戦略: 世界を変えられるか?」について110名の高校生に判り易く 講義をしました。

- 1)日時:2011年7月15日
- 2)場 所:兵庫県立宝塚西高等学校
- 3)講師:峯本晴輝氏(ABIC講師)
- 4) 内 容: 久保 広正教授(神戸大学大学院経済学研究科、E UIJ関西特別顧問) による事前の講習に基づき「EUについて] と題して、判り易く講義をして戴きました。約200名の高校生はEUについてもっと知りたいとして種々の質問をしていました。

The goal of the activities is to raise visibility of the EU among Japanese people. In order to attain the goal, the *EUIJ-Kansai* engaged in Outreach Activities for the following targets during the third year.

To General public

Hanshin Senior College

Associate Prof. Eva Banincova gave her lectures, in which she first outlined the EU integration process and then explained the background of the EU enlargement in 2004 as well as the actual enlargement process. After that she illustrated the economic impact of the enlargement in 2004 on the new Member States in Central and Eastern Europe. Her explanations were sure to deepen understanding of 45 participants in each venue regarding the EU enlargement and its economic impact.

- 1) Date: 20 April 2011 in City of Takarazuka and 27 May 2011 in City of Amagasaki
- 2) Lecturer: Associate Prof. Eva Banincova, Kobe University and advisor of the *EUIJ-Kansai*
- 3) Topio

"Central and Eastern European countries and their EU accession"

Kobe Silver College

Prof. Yoshii gave his lecture, in the first part of which he explained the fact that market transition caused macroeconomic turmoil (large decrease of production, and hyperinflation) in the CEECs (Central and Eastern European Countries) and in the second part he explained a roadmap of the EU accession including the Copenhagen criteria, then the result of the EU accession, such as FDI (including Japanese FDI), and remaining problems, such as transition clauses, euro adoption, and future enlargement. These explanations were sure to deepen understanding of the participants regarding market transition and the EU accession on the CEEC.

- 1) Date: 27 April 2011
- Lecturer: Prof. Masahiko Yoshii, Graduate School of Economics, Kobe University and President of the EUIJ-Kansai
- 3) Top

"Market Transition and the EU Accession in the CEECs"

Open Lecture

Professors of the *EUIJ-Kansai* explained today's economic and social situation of the EU to 232 participants, who understood deeply the general and basic ideas of the EU from their lectures

- 1) Date: 18 June 9 July
- 2) Venue: Graduate School of Economics, Kobe University
- 3) Title:
- "The EU Economy in Turmoil of the Financial Crisis"
- 4) Details of lecture:
- "Can the EU Economy get out of the Crisis?" by Prof. Hiromasa Kubo
- "Euro and the Financial Crisis" by Associate Prof. (Kentaro Iwatsubo)
- "Swedish Industrial Structure and the Society" by Associate Prof. (Sawako Maruyama)
- "EU Integration in Diversity: Belgium Case" by Prof. Takashi Okunishi
- "New Member States: Central and Eastern European Countries Three Baltic States" by Associate Prof. (Eva Banincova)
- "EU Accession of the South East European Countries"

by Prof. Masahiko Yoshii

To Students of senior high school

Open Campus

The *EUIJ-Kansai* demonstrated posters and photos and intensive lecture an the EU was given to 250 participants by professors of Kobe University. The topic is "Know the EU and the *EUIJ-Kansai*"

- 1) Date: 10 August 2011
- 2) Venue: Faculty of Economics, Kobe University

Special Lecture by professor of the *EUIJ-Kansai* and staff of ABIC

Professor of the $\it EUIJ{\text{-}}\it Kansai$ and staff of ABIC gave their lectures about the EU-related issues to the students of senior high school.

- 1) Date: 12 July 2011
- 2) Venue: Cosmo Square Osaka
- 3) Lecturer: Prof. Masahiko Yoshii, (Graduate School of Economics, Kobe University and president of the *EUIJ-Kansai*)
- 4) Topic: "Can the EU change the World?: Economic Integration, the Crisis, and what is next"
- 1) Date: 15 July 2011
- 2) Venue: Takarazuka-Nishi Senior High School
- 3) Lecturer: Mr. Haruki Minemoto, (staff of ABIC)
- 4) Topic: "About the EU"

ミニ・シンポジウム「EUの専門家からEUと日本の関係を学ぼう」

大阪府や兵庫県の高校で、EUからの専門家とEUIJ関西の教授陣による「EUの専門家からEUと日本の関係を学ぼう」と題するミニ・シンポジウムを5回開催しました。

- 1)日時:2011年6月23日
- 2)場所と人数:大阪府立茨木高等学校 345名
- 3)講師と題目:

吉井 昌彦教授 (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西代表)「EUって何だろう?: EUの歴史と現在」

バーバラ・ローデ氏

(駐日欧州連合代表部 公使参事官、科学技術部部長)

「EUの原子力エネルギー開発とその平和利用政策」

ポール・ベイコン准教授

(早稲田大学国際教養学部、EUIJ早稲田副代表)

「EUの人権政策」

- 1)日時:2011年7月26日
- 2) 場所と人数:大阪府立天王寺高等学校 210名
- 3) 講師と題目

リチャード・ケルナー氏

(駐日欧州連合代表部 広報部学術協力担当)

「EUって何だろう?」

久保 広正教授 (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西特別顧問) 「**EUの経済」**

スティーブン・アーツル准教授 (九州大学法学研究院)

「EUの環境(エネルギー)政策」

- 1)日時:2011年9月29日
- 2)場所と人数:兵庫県立兵庫高等学校 220名
- 3)講師と題目:

ヴィセンテ・J・ルナ氏 (駐日欧州連合代表部 広報部広報官) 「EUって何だろう?」

ドナル・ケンナリー氏 (アイルランド大使館 公使参事官)

「EUのエネルギー政策」

吉井 昌彦教授 (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西代表) 「EUの経済統合と金融危機」

- 1) 日 時:2012年1月11日
- 2)場所と人数:大阪府立高津高等学校 355名
- 3)講師と題目:

ヘイス・ベレンツ氏 (駐日欧州連合代表部 一等書記官、通商部) 「EUの気候変動に対する政策とエネルギー政策」

久保 広正教授 (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西特別顧問)

「EUって何だろう?」 エバ・バニンコバ准教授 (神戸大学、EUIJ関西顧問)

1) 日 時:2012年2月22日

「EU経済の現状」

- 2)場所と人数:金蘭千里高等学校 210名
- 3)講師と題目

吉井 昌彦教授 (神戸大学大学院経済学研究科、EUIJ関西代表)

「EU:欧州統合と国際・金融危機」

アルブレヒト・ロタハー氏

(駐日欧州連合代表部 一等書記官、政治経済部)

「EUの外交政策」

クリスチャン・モリモト・ヘアマンセン教授 (関西学院大学法学部) **「EUの人権政策」**







Mini Symposia "Learn from experts of the EU: EU - Japan Relation and Common Issues"

The *EUIJ-Kansai* organised Mini Symposia entitled "Learn from the experts of the EU: EU-Japan Relation and Common Issues" at 5 senior high schools in Osaka Pref. and Hyogo Pref., to stimulate senior high school students' interest in the EU and global community, raise the human resources in the EU – Japan, international relation field and promote understanding about the importance of the EU in the world.

1) Date, venue and number of participants:

23 June 2011 at Ibaraki Senior High School: 345 students 26 July 2011 at Tennouji Senior High School: 210 students

29 September 2011 at Hyogo Senior High School: 220 students

11 January 2012 at Kouzu Senior High School: 355 students

22 February 2012 at Kinran-senri High Schools: 210 students

2) Lecture details of each symposium

at Ibaraki Senior High School:

"What is the EU: Its History and Today"

by Prof. Masahiko Yoshii,

(Graduate School of Economics, Kobe University and president of the *EUIJ-Kansai*)

"About EU's Nuclear Energy Development and its Peaceful Use Policy"

by Dr. Barbara Rhode,

(Minister – Counsellor, Head of Science & Technology Section, the Delegation of the European Union to Japan)

"About the EU's Human Right Policy"

by Associate Prof, Paul Bacon,

(School of International Liberal Studies, Waseda University, Vice President of EUIJ-Waseda)

at Tennouji Senior High school:

"What is the EU?"

by Mr. Richard Kelner

(Academic Cooperation Officer, Press, Public and Cultural Affairs Section, the Delegation of the European Union to Japan)

"European Economy"

by Prof. Hiromasa Kubo,

(Graduate School of Economics, Kobe University, special advisor of the *EUIJ-Kansai*, Advisor to the President of Kobe University)

"The EU Energy Policy"

by Associate Prof. Steven van Uytsel,
(Graduate School of Law, Kyushu University)

at Hyogo Senior High School:

"What is the EU?"

by Mr. Vicente J. Luna,

(Communication Officer, Press, Public and Cultural Affairs, the Delegation of the European Union to Japan)

"The EU's Energy Policy"

by Mr. Donal Kennerlly,

(Counsellor and Deputy Head of Mission, Embassy of Ireland)

"The EU's Current Economic Situation"

by Prof. Masahiko Yoshii,

(Graduate School of Economics, Kobe University and president of the *EUIJ-Kansai*)

at Kouzu Senior High School:

"The EU's Climate and Energy Policy"

by Mr. Gijs Berends,

(First Secretary, Trade Section, the Delegation of the European Union)

"What is the EU?"

by Prof. Hiromasa Kubo.

(Graduate School of Economics, Kobe University and special advisor of the *EUIJ-Kansai*)

"EU's Current Economic Situation"

by Associate Prof. Eva Banincova,

(Kobe University, Advisor to the EUIJ-Kansai)

at Kinran-senri Senior High School:

"The EU's Integration and Current Debts/ Financial Crisis"

by Prof. Masahiko Yoshii,

(Graduate School of Economics, Kobe University and president of the *EUIJ-Kansai*)

"The EU's Foreign Policy"

by Mr. Albrecht Rothacher,

(First Counsellor, Political & Economic Section, the Delegation of the European Union to Japan)

"The EU's Human Rights Policy"

by Prof. Christian Morimoto Hermansen, (Faculty of Law, Kwansei Gakuin University)





40 アウトリーチ活動

ビジネス界への活動

国際シンポジウム

EUIJ関西は、第3年度で国際シンポジウムを3回、ビジネスセミナーを1回開催しました。

■第13回国際シンポジウム

- 1)日時:2011年9月13日
- 2) 場 所:大阪大学
- 3) テーマ:「EU国際取引法と日本企業の今後」 EUIJ関西は、日本企業が避けて通る事が出来 ないグローバルな取引活動に伴う法律問題を、E Uとの国際取引を手掛かりとして議論しました。
- 4) 講演者:

第1セッション

「日EU間FTA締結に向けた課題と展望一政策の現場から」

相 航一氏 (外務省経済局 国際経済課長)

ニコラオス・ザイミス氏 (駐日欧州連合代表部 -等参事官、通商部長) 第2セッション

「EU通商法と日本企業のこれまでの取組と将来」

ベンヤミン・ニックスドルフ氏

(アーンスト&ヤング フランクフルト事務所弁護士) 安田 寛哉氏 (監査法人トーマツ、シニアマネージャー)

司会:福井 康太教授 (大阪大学大学院法学研究科)





■国際シンポジウム

- 1)日時:2011年11月29日
- 2) 場 所:大阪国際会議場
- 3) テーマ: 「EU東方パートナーシップ ―成果と展望とビジョン―」

EUIJ関西は、2011年下半期におけるポーラ ンドの欧州連合理事会議長国就任を記念する事業 の一環として駐日ポーランド共和国大使館が主催 するシンポジウムに共催して、久保広正特別顧問 (神戸大学大学院経済学研究科教授) が開会の挨 拶を行いました。

ベアダ・ヴォイナ氏 (ポーランド外交研究所)

「長期戦略としての東方パートナーシップ」

カタジナ・ペウチンスカーナウェンチ氏 (ポーランド東方研究センター)

「パートナーシップのビジネスへの展開 ―経済プロジェクトとしての東方パートナーシップ」

ラファウ・サドフスキー氏 (ポーランド東方研究センター)

「東欧諸国の発展

―EU東方パートナーシップの挑戦と展望」

アダム・バルツェル氏 (欧州戦略センター)

「勢力の分析

一東方パートナーシップのステークホルダーとして の第三国(ロシア、中国、アメリカ合衆国、トルコ他)」

■第14回国際シンポジウム

- 1)日時:2012年2月7日
- 2) 場 所:大阪大学
- 3) テーマ:「模倣品問題解決に向けての日欧戦略的共同」 EUIJ関西は日本電気制御機器工業会(NE CA) との共催で実施しました。2月9日にはEU SI東京も同様のシンポジウムを実施、二つのE
- 4) 講演者

マエブ・コリンズ氏 (駐日欧州連合代表部 公使副代表)

「模倣品防止政策におけるEUの国際協力」

UIJの共同事業となりました。

フォルカー・ボン氏

(シーメンスAG Dept. Corporate Name and Trademark Law首席) 「SIEMENSによる成功例:

アジアにおける模倣防止のための知的財産強化対策」

Zbigniew Sagan氏 (CTO of Advanced Track & Trace) 「フランスにおける模倣品対策成功例と今後の展開について」

(経済産業省製造産業局 模倣品対策·通商室 模倣対策専門官、弁護士)

「模倣品対策に関する日本国政府の取組」

(パナソニック株式会社 デバイス社 知的財産戦略室 参事、 NECA模倣品 対策研究会主査)

「模倣品に対するNECAの取組と今後の対策」

司会:久保 広正 EUIJ関西特別顧問 (神戸大学大学院経済学研究科教授)



ビジネス・セミナー

エバ・バニンコバ顧問(神戸大学准教授)が約35名の連合大阪 地方ユニオンの組合員に対して現在のEU経済の状況、特にギ リシャ危機に焦点を当てて説明しました。殆どの出席者はEU について全く知識のない方々でしたが、バニンコバ顧問の説明 で良く理解出来たと好評でした。

- 1)日時:2011年11月10日
- 2) 連合大阪地方ユニオン
- 3) テーマ: 「EU経済に学ぶ」

Business Circle

International Symposia

The EUIJ-Kansai organised 3 International Symposia and Business Seminars to renew business people's understanding on business environment in the EU.

■ 13th International Symposium

- 1) Date: 13 September 2011
- 2) Venue: Osaka University Nakanoshima Centre
- 3) Topic:

"EU International Trade Law and the Future of Japanese Business"

- 4) Objective: to inform and enlighten Japanese businesses based in Kansai area about the coming challenge when dealing with the EU in the event of the conclusion of the EPA/FTA between Japan and the European Union, and to give Kansai-based lawyers and accountants the incentive to become competent in the EU international trade law so as to differentiate their specialty from lawyers based in the Tokyo metropolitan area who are mostly concerned with legal matters arising from trade with the U.S. and
- 5) Programme:

Session I

Mr. Koichi Ai.

(Director of International Economy Division at the Economic Affairs Bureau of the Ministry of Foreign Affairs of Japan)

"To the Economic Partnership Agreement (EPA) between Japan and EU" Mr. Nikolaos Zaimis

(First Counselor of the Head of Trade Section of the Delegation of the European Union to Japan)

"The European Union Trade Policy 2011" Session II

Dr. Benjamin Nixdorf,

(Specialist lawyer for Japanese clients, Ernst & Young, Germany)

"EU Competition Rules-Challenges and Opportunities for Japanese Companies-"

Mr. Kanya Yasuda,

(Specialist accountant and Senior Manager of Deloitte Touche Tohmatsu LLC, Japan)

"Current business situation of Japanese corporations in EU countries"

Coordinator: Prof. Kota Fukui.

(Graduate School of Law and Politics, Osaka University)

- ■International Symposium in cooperation with the Embassy of the Republic of Poland in Tokyo:The EUIJ-Kansai co-organised this symposium as an event of the Polish EU Presidency.
- 1) Date: 29 November 2011
- 2) Venue: Osaka International Convention Centre

"The European Union's Eastern Partnership: Results, Prospects and Visions"

- 4) Objective: This symposium was held as event of the Polish Presidency in the Council of the European Union in the second half of 2011, a follow-up to the Eastern Partnership Summit that was held 29-30 September 2011 in Warsaw, Poland.
- 5) Programme:

Ms.Beata Wojna,

(The Polish Institute of Foreign Affairs (PISM), Poland

"The Eastern Partnership: A Long-term Strategy at Work" Ms.Katarzyna Pełczyńska-Nałęcz,

(Centre for Eastern Studies (OSW), Poland)

"Turning Partnership into Business: The Eastern Partnership as an Economic Project" Mr.Rafał Sadowski,

(Centre for Eastern Studies (OSW), Poland)

"Developments in the Eastern European Countries: Challenges and Prospects for the EU and the Eastern Partnership.'

Mr.Adam Balcer.

(Centre for European Strategy, Demos Europa, Poland)

"A Power Audit: The Third States (Russia, China, the US, Turkey and others) as Stake Holders in the Eastern Partnership"

■14th International Symposium

- 1) Date and Venue: 7 February 2012
- 2) Venue: Osaka University
- 3) Theme

"Strategic Collaboration between Europe and Japan in Anti-Counterfeiting Measures and Piracy Problems"

- 4) Objectives: to introduce initiatives and successful cases of European and Japanese companies in measures against counterfeit products, to discuss mutual cooperation between Japan and Europe on anti-counterfeiting measures and examine the possibility of forming strategic alliances between European and Japanese industries to cope with counterfeit goods
- 5) Programme:

Opening Speech

by Ms. Maeve Collins.

(Deputy Head of the Delegation of the European Union to Japan)

"International Cooperation on Anti-Counterfeiting Policy: the EU Experience"

(Head of Department Corporate Name and Trademark Law, Siemens AG)

"Siemens's Successful Cases of Enforcing IP-Rights against Counterfeiters in Asia"

Mr. Zbigniew Sagan,

(Chief Technology Officer of Advanced Track & Trace, Member of ISOPC246/TC247)

"French Anti-counterfeiting Approach and Convergence Vision for the Future"

Mr. Tadayuki Tsukasaki,

(Attorney at Law, Office for Intellectual Property Right Infringement, Manufacturing Industries Bureau, Ministry of Economy, Trade and Industry)

"The Japanese Government's Approach to Anti-counterfeiting Measures"

Mr. Yasushi Nishioka,

(Councillor, Technical Strategy Office, Corporate Industrial Devices Development Division, Industrial Devices Company, Panasonic Corporation, Chairman of Anti-counterfeiting Task Force, NECA)

"NECA's Approach to Anti-counterfeiting Measures and Future Initiatives"

Chair and Coordinator

Prof. Hiromasa Kubo,

(Graduate School of Economics, Kobe University, special advisor of the *EUIJ-Kansai*, Advisor of President of Kobe University)

Business Seminar

- 1) Date: 10 November 2011
- 2) Venue: General Workers' Union of Osaka District
- 3) Topic: "Learning about the EU Economy"
- 4) Lecturer: Associate Prof. Eva Banincova, (Kobe University, and advisor of the EUIJ-Kansai)

アウトリーチ・セミナーシリーズ

2012年3月31日に兵庫トヨタ本社ビルで、エバ・バニンコバ顧問(神戸大学准教授)による「EU金融危機とスロバキア経済」を 1回開催しました。

1) 日 時:2012年3月31日 2) 場 所:兵庫トヨタ本社

3) 講演者:エバ・バニンコバ准教授(神戸大学、EUIJ関西顧問)

4) テーマ:「EUの財政危機とスロバキア経済」

各種行事

日・EUフレンドシップ・ウィーク

毎年5~6月に開催される「日・E Uフレンドシップ・ウィーク」の一環として、関西学院大学E Ui(E U情報センター)と協力し合って、関西学院大学教授陣によるE U関連のテーマとする講演会、E Uクイズ、兵庫栄養調理製菓専門学校の講師によるE U加盟国の料理教室、E U関連のパネル・ポスターの展示、E U四季号・E U I J関西グッズの配布等各種イベントを開催しました。

1)日 時:2011年6月11~17日 2)場 所:関西学院大学



ワンワールド・フェスティバル

毎年2月に大阪市で開催され、二日間で1万7千人の来場者があるフェアに参加し、一般・小中学生とその両親に対してポスター・パネルの展示、ビデオでのEUやユーロの説明、EUIJ関西の活動やEU・ユーロについて紹介しました。EUIJ関西のブースにも約650人が訪問し、教授陣の判り易い説明に聞き入っていました。ブースに来た方々にEUに関連するクイズを実施し、回答をした参加者にEUIJ関西の関連グッズを渡しました。

1)日 時:2012年2月4~5日 2)場 所:大阪市国際交流センター

神戸国際フェア

毎年3月に神戸市で開催されるフェアに参加し、一般・小中学生とその両親に対してポスター・パネルの展示、ビデオでのEUやユーロの説明、EUIJ関西の活動やEU・ユーロについて紹介しました。又、EUに関連するクイズを実施し、回答をした参加者にEUIJ関西の関連グッズを渡しました。

1)日時:2012年3月11日

2)場 所:神戸市ハーバーランド スペースシアター





情報活動

EUIJ関西のパンフレット、ポスターの作成・配布やウェブによるEUIJ関西の活動やEUに関する情報発信でEUの広報普及活動に従事しました。

Outreach Seminar Series

The EUIJ-Kansai held only 1 seminar during the third year to the general public.

- 1) Date: 31 March 2012
- 2) Venue: Hyogo Toyota Head Office Bldg.
- 3) Speaker: Associate Prof. Eva Banincova, Kobe University and advisor of the EUIJ-Kansai
- 4) Topic: "EU Financial Crisis and Slovak Economy"

Other Outreach Activities

EU-Japan Friendship Week

- 1) Date: 11 17 June 2011
- 2) Venue; Kwansei Gakuin University
- Objective: to introduce the EU to general public, and to stimulate students' interest in the EUIJ-Kansai's activities
- 4) Details: Seminar "Future of the EU" by Prof. Francis Rawlinson of Kwansei Gakuin University, Exhibition of "Euro and the EU", EU Quiz, and EU Cooking School "Learn about the Cuisine of the EU Member States" at Hyogo Nutrition Cooking Confectionary College were held.

One World Festival

- 1) Date: 4 5 February 2012
- 2) Venue: Osaka International House Foundation
- 3) Objective: to introduce various activities of the *EUIJ-Kansai* and the EU, and the Euro to many participants from the general public
- 4) Details:Almost 17,000 general public visited this festival during 2 days and about 650 visitors including pupils of primary schools, students of junior and senior high schools, universities and general public came to our booth to enjoy EU Quiz. Many of them didn't get the right answers for 10 questions. However they enjoyed the EU quiz a lot and listened to the explanation of our professors. At same time we introduced activities of the EU, the Delegation of the EU to Japan, the EUIJ-Kansai, and Euro.

2011 Kobe International Fair

- 1) Date: 11 March 2012
- 2) Venue: Harbour-land Space Theatre in City of Kobe
- 3) Objective: to introduce various activities of the *EUIJ-Kansai* and the EU, and the Euro to many general public.
- 4) Details: Almost 2,000 general public visited, and about100 visitors including pupils of primary schools, students of junior high schools and general public came to our booth to enjoy EU Quiz. At same time we introduced activities of the EU, the Delegation of the EU to Japan, and the EUIJ-Kansai, and Euro.



EU-Related Information Activities

The *EUIJ-Kansai* became a source of EU information, using Web-site and other various programmes, having collaboration with the Delegation to collect useful information and distribute widely them to universities and outside universities, and also to introduce activities of the *EUIJ-Kansai* and establish closer relationship with other EU Centres in Japan and Asian countries During the third year, the *EUIJ-Kansai* published "Annual Review" of the third year, produced pamphlets and posters.

44 | アウトリーチ活動

04

EUIJ関西は、学生や研究者のEU関連の問題に関する理解を深めるために、第3年度で若手研究者招聘による共同研究プログラムの策定と専門家の短期招聘によるセミナーを実施しました。

若手研究者の招聘

第2期から、毎年EU加盟国の若手研究者を招聘して、共同研究プロッグラムの策定を検討しています。 第3年度では、1名の若手研究者を招聘しました。

1)期間:2011年12月19~23日

2)場 所:神戸大学

3) 講演者: ディミトリ・バノベルベケ准教授

(ルーヴァン・カソリック大学芸術学部)



専門家の短期招聘によるセミナー

EUIJ関西は、第3年度でEU加盟国から3名の専門家を短期招聘してセミナーを開催しました。

エリザベート・セーデスン教授

(ヨンショーピン大学人間福祉学部)

1)期間:2011年10月31日~11月8日

2)場 所:関西学院大学

3) 題 目:「ソーシャルワークにおける専門家とクライ エントのコミュニケーション」

デニス・C・ミューラー博士 (ウィーン大学)

1)期間:2011年11月18~22日

2) 場 所: 関西学院大学

3) 題 目:「ヨーロッパから見た民主主義と市民権をめぐる世界情勢」

During the third year the *EUIJ-Kansai* organised Invited *EUIJ-Kansai* Fellows Programme and Seminar/Lecture by Invited Experts Programme, to invite various researchers in order to stimulate interest of students and researchers in the EU-related issues.

Invited *EUIJ-Kansai* Fellows Programme

From April 2009, the *EUIJ-Kansai* started this programme to establish joint research projects. During the third year, the *EUIJ-Kansai* invited 1 young researcher

- 1) Term: 19 23 December 2011
- 2) Venue: Kobe University
- 3) Researcher: Associate Prof. Dimitri Vanoverbeke, Faculty of Arts, Leuven Katholieke Universiteit

Seminar/Lecture by Invited Experts Programme

During the third year, the *EUIJ-Kansai* invited 3 experts from the Member States to stimulate interest in the EU-related issues for the researchers and students.

Prof. Elisabet Cedersund,

(National Institute for the Study of Ageing and Later Life, School of Human Welfare Studies, Jonkoping University, Sweden)

- 1) Term: 31 October 8 November 2011
- 2) Venue: Kwansei Gakuin University
- 3) Theme: "Communication between professionals and clients in social work, from the examples of case assessment in eldercare"

Dr. Dennis C. Mueller,

(Vienna University)

- 1) Term: 18 22 November 2011
- 2) Venue: Kwansei Gakuin University
- 3) Theme: "Democracy and Citizenship from European Perspective"

05 他の E U センターとの交流

EUIJ関西は汎アジア地域のEUセンターとの協力関係を構築し、互いの過去の経験を共有し、議論を深めるために2012年1月に韓国で開催されたラウンドーテーブルに吉井代表が出席しました。日本に在る他のEUIJ(EUIJ早稲田、EUSI東京、EUIJ九州)との交流を深め、夫々がEU加盟国から招聘する専門家を互いに招聘してシンポジウム、ワークショップ、講義、セミナーを開催することにも努めると共に2011年12月9-10日にはEUIJ関西にて4EUIJによるラウンドテーブルを開催し、夫々の抱える問題点や今後のEUIJの在り方について議論しました。

また、兵庫EU協会とは2011年6月30日に駐日欧州連合代表部ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート大使の「日・EU関係の近況」講演会を後援し、EUIJ関西主催のシンポジウム・セミナーにも協力をお願いしました。日欧産業協力センターとはJ-BILATの広報活動で協力を続けました。



Cooperation Activities with other EU Centres from the region

05

The *EUIJ-Kansai* made effort to discuss modalities of possible cooperation with the EU Centres established in Pan-Asian area, to participate in Roundtable, which was held by Yonsei University in Korea on 30-31 January 2012 to maintain network and share experience with other EU Centres.

The *EUIJ-Kansai* tried hard to develop concrete cooperation with EUIJ-Waseda, EU Studies Institute in Tokyo, and EUIJ-Kyushu and held Roundtable with other EUIJs on 9-10 December 2011 to share experience about the effective promotion of the EU studies and effective organisation of the project activities

With Hyogo EU Association, the *EUIJ-Kansai* cohosted seminar of "Update on EU-Japan"

Relations" by Ambassador H.E. Hans Dietmar Schweisgut of the Delegation of the European Union to Japan on 30 June 2011. Both Hyogo EU Association and the Delegation also supported the *EUIJ-Kansai*'s International Symposia and Seminars. With EU-Japan Centre for Industrial Cooperation, the *EUIJ-Kansai* continued to introduce the Centre's J-BILAT activities on our web-site throughout the third year.



The EUIJ-Kansai

事務局所在地

EUインスティテュート関西 事務局

T657-8501

神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学六甲台キャンパス フロンティア館6階

TEL 078-803-7221 FAX 078-803-7223

E-mail: euij-k@org.kobe-u.ac.jp URL: http://EUIJ-Kansai.jp/

関西学院大学分室

T662-8501

兵庫県西宮市上ケ原一番町1-155 関西学院大学産業研究所内(大学図書館3F)

TEL 0798-54-6127

E-mail: EUIJ-Kansai@kwansei.ac.jp

大阪大学分室

〒560-0043

大阪府豊中市待兼山町1-31 大阪大学大学院国際公共政策研究科内

TEL 06-6850-5641

E-mail: euij-osadm@osipp.osaka-u.ac.jp

組織 (2011年9月1日現在)

■諮問委員会

議長・神戸大学長 福田 秀樹 関西学院大学長 井上 琢智 大阪大学総長 平野 俊夫

<EUIJ事業の方針の案件決定、進捗状況等について評価、助言>

■運営部

代表 吉井 昌彦 (神戸大学大学院経済学研究科 教授) 副代表 井上 典之 (神戸大学大学院法学研究科 教授) 山口 隆之 (関西学院大学商学部 教授) 利 博友 (大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授) 特別顧問 久保 広正 (神戸大学大学院経済学研究科 教授)

顧 問 エバ・バニンコバ (神戸大学 准教授) <方針や年次計画の決定とその遂行>

■ワーキンググループ

く教育グループ>

委員長 吉井 昌彦 (神戸大学大学院経済学研究科 教授) 委員相原 降(関西学院大学法学部教授) ばん澤 歩 (大阪大学大学院経済学研究科 教授)

<研究グループ>

委員長 濱本 正太郎 (京都大学大学院法学研究科 教授) 委 員 吉井 昌彦 (神戸大学大学院経済学研究科 教授) 海道 ノブチカ (関西学院大学商学部 教授)

<アウトリーチグループ>

委員長 海道 ノブチカ (関西学院大学商学部 教授) 委 員 久保 広正 (神戸大学大学院経済学研究科 教授) 松繁 寿和 (大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授)

■EUIJ関西事務局

統括ディレクター 山田 照憲 財務担当マネージャー 寺西 章好 渉外担当マネージャー 山下 奈美 大福 直佳 総務担当 へIXI人子分至 総務担当マネージャー 東村 紀子

関西学院大学分室 渋谷 武弘 (関西学院大学産業研究所事務長) 石田 文子 (関西学院大学産業研究所主任)

Offices Location

EU Institute in Japan. Kansai (the *EUIJ-Kansai*)

Frontier Hall for Social Sciences 6F, Kobe University, 2-1, Rokkodai, Nada-ku, Kobe 657-8501 Japan

TEL +81-078-803-7221

FAX +81-078-803-7223

E-mail: euij-k@org.kobe-u.ac.jp URL: http://EUIJ-Kansai.jp/index_en

Kwansei Gakuin University Branch

The Institute for Industrial Research, Kwansei Gakuin University.

1-1-155, Uegahara, Nishinomiya, Hyogo 662-8501 Japan

TEL +81-0798-54-6127

E-mail: EUIJ-Kansai@kwansei.ac.jp

Osaka University Branch

Osaka School of International Public Policy, Osaka University 1-31 Machikanevama-cho. Toyonaka, Osaka 560-0043 Japan

TEL +81-06-6850-5641

E-mail: euij-osadm@osipp.osaka-u.ac.jp

Organisation

Organisation (as of 1 September 2011)

■ Advisory Board
Chair & President of Kobe University Hideki Fukuda

President of Kwansei Gakuin University Takutoshi Inoue

President of Osaka University

Toshio Hirano

<Supervise and co-ordinate all the activities of the Consortium>

■Management Office

President Masahiko Yoshii

(Professor, Graduate School of Economics, Kobe University)

Noriyuki Inoue (Professor, Graduate School of Law, Kobe University)

Vice-President

Takayuki Yamaguchi

(Professor, School of Business Administration, Kwansei Gakuin University)

Hiro Lee (Professor, Osaka School of International Public Policy, Osaka University) Special Advisor

Hiromasa Kubo (Professor, Graduate School of Economics, Kobe University)

Eva Banincova

(Associate Professor, Kobe University)

< Decision of the policy and annual working programme, and their performance>

■Working Group <Education Group>

Masahiko Yoshii (Professor, Graduate School of Economics, Kobe University)

Members Takashi Aihara

(Professor, School of Law, Kwansei Gakuin University)

Ayumu Banzawa (Professor, Graduate School of Economics, Osaka University)

<Research Group>

Head Shotaro Hamamoto (Professor, Graduate School of Law, Kyoto University)

Masahiko Yoshii

(Professor, Graduate School of Economics, Kobe University)

(Professor Dean School of Business Administration Kwansei Gakuin University)

<Outreach Group>

Head Nobuchika Kaido

(Professor, Dean, School of Business Administration, Kwansei Gakuin University)

Members

Hiromasa Kubo

(Professor, Graduate School of Economics, Kobe University)

Members

Menuels Hisakazu Matsushige (Professor, Osaka School of International Public Policy, Osaka University)

■Secretariat Office

Director Akinori Yamada

Financial Manager Akiyoshi Teranishi

Outreach & External Manager

Nami Yamashita

Administration Naoka Ofuku

Administration Manager at Osaka University Office Noriko Higashimura

Kwansei Gakuin University Office Takehiro Shibutani

(Head of Administration Office, Institute for Industrial Research, Kwansei Gakuin University)

Furniko Ishida (Senior Staff of Administration Office, Institute for Industrial Research, Kwansei Gakuin University)